

## 令和2年度 総務部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総務部長 岡田 誠	<p>●使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、顧客満足度を第一に市民ニーズにこたえる市役所をめざすとともに、市民が安全で安心できる暮らしを実現するため、行政、市民、地域が一体となった取り組みを行い、市民の防災意識、交通安全意識、防犯意識の向上を図ります。</p> <p>●基本方針</p> <p>①市民ニーズにこたえる市役所をめざして、全体の奉仕者として市民の期待に応える職員を育てます。</p> <p>②市民が将来にわたって安心して暮らせるように、日頃から災害に備え、いざという時に素早く行動できる防災意識の高いまちをつくれます。</p> <p>③防災意識の高いまちをめざして、市民の防災意識の高揚と、職員の防災・災害対応能力の向上に努めます。</p> <p>④交通事故ゼロのまちをめざして、交通安全推進団体と連携し、交通安全の教育や教室、啓発活動を実施します。</p> <p>⑤住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまちをめざして、瀬戸内市空家等対策計画に基づき、空家等による問題の発生予防に取り組み、周囲に悪影響を及ぼしている空家等への指導を行います。</p> <p>⑥災害から市民の生命を守るための防災情報を正確かつ迅速に伝える新たな情報伝達手段のシステムを構築します。</p>	所管課	総務課・危機管理課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			22人	9人	31人
		一般会計	455,134 千円		
		特別会計	千円		
		計	455,134 千円		
		(うち人件費)	( 206,153 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 私債権等の適切な管理	非強制徴収公債権及び私債権（以下「私債権等」という。）を適切に管理するため、問題を解決するための手順や庁内体制等について検討します。	私債権等の現状（滞納額、消滅時効の成立状況、回収可能性、現在における徴収状況と問題点等）を洗い出すとともに、問題を解決するための手順、体制等を検討します。その後、市政に与える影響を可視化し、例規の制定等今後の方向性を決定します。	事前に把握し、早期に処理しておくべき課題及び案件等について、関係各課等と調整し、洗い出しを行っています。今後、当該課題等について対応しながら、例規制定等の方向性について具体的な検討を進めます。	当該課題等について対応しながら、例規制定等の方向性について具体的な検討を進めています。	例規の制定には至っていません。引き続き関係各課と情報を共有し、事務の分担を明確にするとともに、適切な管理体制の構築を目指します。
2 働き方改革及び職場環境向上への取り組み	働き方改革により、ワークライフバランスを推進するとともに、労働安全衛生法に則ったストレスチェックの実施等のメンタルヘルス対策やハラスメント対策等、職場環境の向上に引き続き取り組みます。	<p>職員の負担軽減を図るため、引き続き、宿日直の外部委託の検討を進めます。</p> <p>ワークライフバランスを推進するため、業務改善に係る職員研修を実施します。</p> <p>ハラスメントに関する例規を制定し、ハラスメントの防止に努めます。</p>	<p>具体的な検討ができていません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期は原則職員研修の実施は見送っています。職員の業務改善を目的として業務可視化の方法を検討し、10月に実証実験をする予定です。</p> <p>ハラスメント対策については、職場内での発生防止、働きやすい職場環境づくりのため、10月に管理職向け、一般職員向けの職員研修を実施する予定です。</p>	<p>具体的な検討ができていません。</p> <p>職員の業務改善を目的として業務可視化の方法を検討し、10月に実証実験をしましたが、職員への負担が想定以上に大きく、導入は困難との結論になりました。</p> <p>10月30日にハラスメント防止研修を行いました。受講者数44名。ハラスメントに関する例規については、内容を検討中です。</p>	<p>具体的な検討ができていませんが、今後も実現に向けて取り組みます。</p> <p>実証実験したシステムの導入には至らなかったため、DX戦略室等と新たな業務可視化の方法等を模索し、業務改善につながる実効性のある取組の実現を目指します。</p> <p>例規の制定には至っていません。市長部局以外の部局との調整や事務分担が必須のため、次年度には具体的な調整等を行った上で、例規を制定し、施行します。</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	市民の防災意識の啓発と自主防災組織の育成	市民の防災意識の高揚と自主防災組織の結成促進を図るため、令和元年度に新たに作成した防災ハザードマップを活用した出前講座を開催します。	出前講座 20回 (令和元年度 19回)	出前講座 4回	出前講座 9回	新型コロナウイルス感染症の影響により出前講座は年間10回
		出前講座や防災リーダー養成講座等を通して、地域の自主的な防災活動を積極的に推進する認定自主防災組織を増やしていきます。	市内自主防災組織 185団体 うち組織認定 60団体 (令和元年度末 49団体)	市内自主防災組織 186団体 うち組織認定 51団体	同左	市内自主防災組織 187団体 うち組織認定 52団体
		自主防災組織が開設する避難所届出制度の啓発をして、登録件数を増やしていきます。	出前講座等での周知を図ります。 新規認定 5件 (令和元年度 3件)	新規認定 3件	同左	同左
4	職員の防災・災害対応能力の向上	災害時における職員の危機管理に対する日常的な自覚や災害対応能力の向上を図るため、職員研修を実施します。	職員を対象とした災害時における危機管理研修を実施します。	7/16 避難所設置訓練を実施	同左	同左
			教職員を対象とした学校における防災教育研修を実施します。	新型コロナウイルス感染症対策で中止	同左	同左
			水害を想定した市総合防災訓練を実施します。	新型コロナウイルス感染症対策で中止	同左	同左
		市の災害対策体制や、各種マニュアル等の見直しを進め、感染症対策も考慮した防災等危機管理対策の強化を図ります。	避難勧告等に関するガイドライン、避難所運営マニュアル等の見直しを行います。	見直し中	避難所運営マニュアル見直し中 避難勧告等に関するガイドライン見直し中	修正を完了  令和3年5月の災害対策基本法改正を視野に見直しを継続

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	交通安全教育・教室及び啓発	<p>正しい交通ルールとマナーを理解し、安全な行動がとれるよう幼児期からの交通安全教育を行います。</p> <p>また、交通事故防止を図るため、警察署、交通安全推進団体、交通安全ボランティア等と連携し交通安全教室や啓発活動を実施します。</p> <p>高齢ドライバーのペダル踏み間違いによる交通事故防止や事故時の被害を軽減するため、後付けのペダル踏み間違い急発進等抑制装置（安全運転支援装置）の設置費補助を利用した設置を促進し、高齢ドライバーや市民の安心安全の向上を図ります。</p>	<p>交通安全教育（教室） （保育園・幼稚園 26回）</p> <p>交通安全教室 （高齢者・一般 5回）</p> <p>交通安全啓発 （春・秋交通安全運動10回）</p> <p>交通安全フェスタ開催 （9/13 300名）</p> <p>市内人身事故発生件数 令和2年50件以内 （平成31年1月～令和元年12月 32件）</p> <p>市ホームページ・広報紙等で周知を図ります。 申請件数 30件</p>	<p>12回実施</p> <p>高齢者教室実施 1回（9/27）</p> <p>10回実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策で中止</p> <p>発生件数 40件 （令和2年1月～9月）</p> <p>市ホームページに4月掲載及び広報紙8月号に掲載 申請件数 1件</p>	<p>21回実施</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>発生件数 59件 （令和2年1月～12月）</p> <p>同左</p> <p>申請件数 3件</p>	<p>30 回実施</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>申請件数 6 件</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
6	空家等による問題の発生予防	<p>庁内連絡会議及び認定審査会を開催し、周囲に悪影響を及ぼしている特定空家等に対する措置等の促進を図ります。</p> <p>空家等の利活用に関する情報の提供や適正な管理を行うことの重要性及び周辺地域にもたらす諸問題の啓発に努めます。</p> <p>空家等除却支援事業を活用して積極的な除却についての促進を図ります。</p>	<p>空家等を特定空家等に認定するために必要な現地調査の実施を行います。</p> <p>庁内連絡会議及び認定審査会を開催し、情報の共有を図り、認定措置を行います。</p> <p>市ホームページ・広報紙等で周知を図ります。</p> <p>市ホームページ・広報紙等で周知を図ります。 補助金申請件数 3件</p>	<p>補助金の事前相談による現地調査の実施</p> <p>7/3・9/16認定審査会を開催し、情報の共有を図る。 認定 1件</p> <p>広報紙7月号に掲載</p> <p>市ホームページに4月掲載及び広報紙7月号に掲載 申請件数 1件</p>	<p>1件の交付決定、実績提出済み</p> <p>10/7に庁内連絡会議を実施し情報共有。 11/13認定審査会を実施、1件の認定を行う。 認定 2件</p> <p>同左</p> <p>同左</p>	<p>同左</p> <p>令和2年度2件を認定</p> <p>同左</p> <p>同左</p>
	防災情報伝達システムの構築	<p>市の防災行政無線は設置から13年以上経過し、設備を更新する時期が来ているため、令和元年度の瀬戸内市防災情報伝達システム基本構想・基本計画に基づき、より多くの市民に災害情報を伝える瀬戸内市にとって最適な防災情報伝達システムを構築します。</p>	<p>瀬戸内市防災情報伝達システム基本計画に基づき、今年度の工事着工を目指します。</p>	<p>プロポーザル方式で事業者を決定、契約を締結。</p>	<p>詳細設計実施中</p>	<p>詳細設計を実施</p>

## 令和2年度 財務部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
財務部長 尾副 幸文  	<p><b>●使命</b> 私たち財務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、顧客満足度を第一に市民ニーズにこたえる市役所をめざすとともに、公共施設の再編を進め、健全で効率的な財政運営を図ります。</p> <p><b>●基本方針</b> 市民ニーズにこたえる市役所をめざし、市の規模にあった中期的な視点での財政運営を行います。 また、公共施設の再編を進め、公共施設の総量を計画的に縮減し、将来の負担を軽減します。</p>	所管課	財政課・契約管財課・建築営繕室		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			17人	2人	19人
		一般会計	3,948,181 千円		
		特別会計	千円		
		計	3,948,181 千円		
(うち人件費)	(123,864 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	安定的な財政運営の推進  地方交付税の合併算定の特例措置が終了した中で、歳入・歳出両面において最大限の努力を行い、優先順位付けを的確に行うなどメリハリのある予算を編成することを目指します。 市民が将来にわたって安心して暮らせるよう、引き続き健全な財政運営に努めるとともに、中期的財政見通しの改善を図ることを目指します。	10月までに中期財政計画を策定します。この計画を踏まえた予算編成を行います。  令和2年度決算見込目標値 ・実質公債費比率：18%未満（交付税措置のない起債借入なし） ・財政調整基金残高：33億円以上（標準財政規模の約30%）	中期財政計画は適正化案まで取りまとめることができ、計画書の策定を進めています。	10月までに中期財政計画を策定し、職員及び議会で説明し、HPで公表しました。  中期財政計画を踏まえて、令和3年度予算編成を行いました。（交付税措置のない起債借入なし、財政調整基金取崩額6億円）	財政調整基金 ・令和2年度末残高見込：約36.3億円

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	公共施設再編計画の策定	公共施設再編計画を見直し、次期計画を策定します。	公共施設再編計画の取り組み状況を検証し、次期計画を策定します。	公共施設再編計画（2期）を策定しました。現在、ホームページに掲載し意見を募集しています。	計画に対する意見を募集した結果、意見はありませんでした。今後は策定した計画に基づき再編を進めます。	計画の策定を完了しています。今後は策定した計画に基づき再編を進めます。
3	長船支所及び周辺施設整備基本計画及び基本設計に基づく事業の推進	長船3施設（長船町公民館、長船支所、長船分駐所）の耐震対策完了に向け事業を推進します。	福祉部、こども・健康部の移転先を検討し最終案をまとめます。最終案に基づき、関連する事業を推進します。	福祉部等仮庁舎案と本庁西棟1階改修案の比較検討を終えました。今後は比較検討内容を市民に周知のうえ方針を示し事業を推進します。	本庁西庁舎を改修し福祉部等を移転する方針としました。事業の着手に向けて準備を進めています。また、長船分駐所については事業者を決定し工事に着手しています。	長船分駐所は順調に工事を進めています。令和3年度から、長船支所新築工事、ゆめトピア長船改修工事、本庁西庁舎改修工事を進めるため、設計業務等に着手します。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	情報ネットワーク等通信環境の整備 市内の光ファイバー未整備地区の解消、テレワーク環境の整備について検討します。	働き方改革に伴う市民のテレワーク、児童生徒、学生の在宅学習、遠隔授業に必要な光ファイバー未整備地区の解消に向け検討を進めます。また、市職員のテレワーク環境の整備について検討します。	市全域の光ファイバー未整備地区の解消に向け事業に着手しました。プロポーザルにより事業者を決定し令和3年度末の完了に向け事業を推進します。 職員のテレワーク環境整備は、在宅勤務における課題を整理しました。サテライトオフィスによる対策も含め引き続き検討を進めます。	光ファイバー整備の事業者を決定しました。令和3年度末の完了に向け事業を実施しています。  市職員のテレワーク環境の整備については1月から運用を開始しています。	光ファイバー整備は令和3年度末の完了に向け事業を進めています。  市職員のテレワーク環境の整備は1月から運用を開始しています。引き続き実施体制の充実を図ります。
5	分任制度での質の高い公共施設の供給 事業原課より建築営繕室が予算の配当替えを受けて、委託及び工事の発注、契約、協議、設計変更、完成検査まで一括して行い、市有建築物の品質確保を図ります。	適切な監理のもと、設計図書どおり委託及び工事を実施して市有建築物の品質確保を図り、質の高い建築物を整備します。	分任を受けた大規模改修工事の2物件の発注、契約を6月までに終え、品質確保を図りながら工事監理を進めています。 長船分駐所新築工事と牛窓町公民館耐震補強等改修工事などの大型物件についても12月発注に向け作業を進めています。	大型物件である長船分駐所新築工事と牛窓町公民館耐震補強等改修工事については、12月までに発注を終えました。引き続き品質確保を図りながら工事監理を進めています。	適切な監理のもと、設計図書どおり委託及び工事を実施して市有建築物の品質確保を図りました。 また、現在進行中のものについても、引き続き品質確保を図りながら工事監理を進めています。

## 令和2年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源				
総合政策部長 松尾 秀明  	<p>●使命</p> <p>総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。</p> <p>また、市民意識を把握し、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①透明で開かれた市役所をめざして、市政の情報と市民目線の広聴広報に取り組みます。</p> <p>②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。</p> <p>③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。</p>	所管課	秘書広報課、企画振興課			
		人員	正職員	臨時職員	合計	
			17人	2人	19人	
		一般会計	570,231			千円
		特別会計	25,025			千円
		計	595,256			千円
(うち人件費)	(110,629)			千円		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	ふるさと納税（応援寄付金）制度の推進  <ul style="list-style-type: none"> <li>税外収入を確保するため、新たな返礼品を開発・拡充するとともに、クラウドファンディングを活用したふるさと納税を推進します。</li> <li>市のさまざまなプロジェクトを紹介し、特設サイトからふるさと納税を集める仕組みを構築します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歳入確保と市のイメージアップのため、お礼の品の開発・拡充をします。また、寄附者とのつながりを大切にします。 《目標額》 2億円以上</li> <li>新規プロジェクトを軌道に乗せます。 《目標》 3プロジェクト以上を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月末現在寄附金総額（未確定数値）は158,835,500円でした。お礼の品の開発・拡充に取り組んでいます。</li> <li>8月27日にふるさと納税特設サイトを開設し、4プロジェクト（山鳥毛里づくり、ハンセン、夢二、こどもひろば）を紹介しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月末現在寄附金総額（未確定数値）は476,852,000円でした。引き続きお礼の品の開発・拡充に取り組んでいます。</li> <li>特設サイトでのプロジェクトのPRを継続しています。</li> <li>企業版ふるさと納税のサイトを構築中です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月末現在寄附金総額（未確定数値）は524,403,500円でした。新規お礼の品として29事業者180品目を登録しました。</li> <li>特設サイトでのプロジェクトPRを継続します。</li> <li>3月30日から企業版ふるさと納税のサイトを公開しました。</li> </ul>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>広報等による市内外への情報発信とシティプロモーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページをよりわかりやすく、親しみやすいものに改善します。</li> <li>・市外への情報発信として広報季刊誌を発行し、市の魅力や取組等を広く発信します。</li> <li>・マスコットキャラクター（セットちゃん）を広く発信することにより「瀬戸内市」の知名度の向上を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使いやすい市ホームページに見直しすることでアクセス数の増加を図ります。</li> <li>・季刊誌を年4回発行することにより、東京圏でのファンを獲得し、関係を継続します。</li> <li>・幼稚園・保育園や各種イベントへ参加します。（年30回以上）</li> <li>・デザイン使用マニュアルにより、セットちゃんのデザインを広く使用してもらいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページのリニューアルに向けて作業を進めています。</li> <li>・11月上旬の季刊誌発行予定に向け、取材等準備中です。（年1回発行に変更。）</li> <li>・新型コロナウイルスの影響によりイベントへの参加を自粛しています。</li> <li>・デザイン使用について、使用ガイドラインを作成し、ホームページに掲載しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページのリニューアル作業と職員操作研修会を開催しました。</li> <li>・季刊誌を12月上旬に発行するとともにファンクラブHPを開設し、SNS等で情報を発信しています。</li> <li>・参加自粛を継続しています。</li> <li>・ホームページにて周知を継続しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアル後のページを3/23から公開しました。</li> <li>・SNS等での情報発信により、ファンクラブ会員を募集しました。3月末の会員数708人です。</li> <li>・参加自粛により、市内でのイベントへの参加実績はありませんでした。</li> <li>・ホームページでの周知により、使用申請が5件ありました。</li> </ul>
3	<p>国内・国際交流事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員の配置による国際交流と国際理解の推進に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生のまちづくりを進めます。</li> <li>・国際交流員の配置と併せて日常生活に必要な情報をまとめた外国人向けパンフレット等の多言語化を3月までに進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により国際交流員の配置が遅れ、多文化共生事業の実施についても9月末時点では未定です。</li> <li>・国際交流員の配置ができず、外国人向けパンフレットの作成時期を見合わせています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナによる新規入国の禁止で、交流員の配置が次年度になると決定されたため、多文化共生事業も次年度に実施することとします。</li> <li>・外国人向けパンフレットの作成時期は次年度以降に見合わせます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員の配置は令和3年5月以降に遅れる見込みです。</li> <li>・外国人向けパンフレットの作成時期は、国際交流員の配置後とします。</li> </ul>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
4 新総合計画の策定 地方創生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第3次総合計画を年度内に策定します。</li> <li>人口減少対策に特化した地方創生の取組を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度内にSDGsの考え方を盛り込んだ新総合計画を策定します。</li> <li>創生有識者会議を7月中に開催し、KPI達成状況を示すとともに、結果を市ホームページで公開します。</li> <li>移住交流促進協議会との連携により移住者の増加を図ります。目標：相談会からの移住5組</li> <li>地方創生拠点施設として整備した旧牛窓診療所の利活用事業を中心に、牛窓エリアでの賑わい創出を促進します。目標：拠点施設で開催されるイベント数2回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月に市民まちづくり意識調査を実施し、次期計画骨子を検討しています。</li> <li>7月27日に有識者会議を開催し意見の要旨等をHP公表しました。</li> <li>県や関係機関が主催するオンライン相談会やセミナーに2回(5月、7月)出展しました。9月末までに5組(全て昨年度相談会参加者)の移住者を受入れました。</li> <li>令和3年4月の供用開始に向けて資金調達や改修設計を実施しています。</li> <li>イベントは映画上映、コンサート、アートイベントを7月から月1回実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月、1月に審議会を開催し、計画案を策定しています。次期計画は、コロナの影響等により3年度の策定方針とします。9月末で完了しています。</li> <li>県や関係機関が主催するオンライン相談会やセミナーに5回(5月、7月、10月、12月、1月)出展しました。1月末までに7組(うち今年度相談会参加者2組)の移住が決定しました。</li> <li>令和3年4月の供用開始に向けて資金調達、施工業者の選定が完了し、2月下旬からリノベーション工事に着手します。イベントは、1月末までに映画上映、コンサート、アートイベント、マルシェなど計10回開催し、参加者は7,900人でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3/29、審議会会長から答申が提出されました。今後、市長選挙に伴う内容修正後パブリックコメント、議会提出の予定です。同左</li> <li>県や関係機関が主催するオンライン相談会やセミナーに7回(5月、7月、10月、12月、1月、3月)出展しました。3月末までに10組(うち今年度相談会参加者4組)の移住が決定しました。</li> <li>令和3年2月末に備前日生信金まちづくりファンドから資金調達し、3月上旬からリノベーション工事を実施しています。資金調達時期が当初の予定より遅れたため、供用開始は令和3年6月となります。</li> </ul>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5 地域公共交通網の計画的な形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 3 年度から令和 7 年度までを計画期間とする第 2 次地域公共交通網形成計画を計画的に策定します。</li> <li>市営バス路線相互の乗り継ぎ環境を整備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種調査を実施した上で、市の状況に対応した計画を年度内に策定します。</li> <li>年度内に市中心部に乗り継ぎのための結節点を設定することに合わせて利用しやすいダイヤに改正します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定支援に係る業務委託契約を完了し、基礎資料とする市民アンケートの発送準備をしています。</li> <li>関係条例の改正等が可決され、11 月 2 日からの新ダイヤ運行に向け準備をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種調査を実施し、公共交通会議等の意見を伺いながら、3 月末完成を目標に作業を進めています。</li> <li>市中心部の商業施設を乗り継ぎ拠点とし、11 月 2 日から新ダイヤで運行を開始しました。</li> </ul>	<p>パブリックコメント、公共交通会議での審議を経て 3 月末に計画策定を終えました。</p> <p>これまでの取組に加え、乗り継ぎ拠点となる市民病院にも詳しい路線図、時刻表を設置しました。</p>
6 持続可能な地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ施設の整備を計画的に進めます。</li> <li>新しい自治組織制度の検討を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉津コミュニティセンター新築工事、本庄コミュニティセンター改修工事を当初の計画どおり進めます。</li> <li>年度内に新自治組織向けの補助制度の方向性を決定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新玉津コミュニティセンターが完成し、8 月末日に引き渡しを受けました。</li> <li>旧施設の解体工事及び本庄コミュニティセンターの改修工事は委託により設計業務を進めています。</li> <li>モデル地区として鹿忍地区の組織化及び邑久コミュニティ協議会の取組をベースに支援内容を検討しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧玉津コミュニティセンター解体工事及び本庄コミュニティセンターの改修工事の設計業務が 12 月上旬に完成しました。</li> <li>1 月下旬に旧玉津コミュニティセンター解体工事及び同監理業務の入札を実施しました。</li> <li>鹿忍地区において地区住民（中学生以上）に対し、協議会設立に向けたアンケートを実施し、地域の強み、課題などを抽出しました。</li> <li>邑久コミュニティでは、定期的に関催される会議に参加し、地域の意見の集約を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 月上旬解体工事及び解体工事監理に係る契約を締結し、玉津地区の行政委員への説明会后、解体工事に着手しました。</li> <li>鹿忍地区ではアンケート結果の各戸配布、新たな組織の規約案、役員案の策定を終え、新年度発足となりました。</li> <li>それぞれの地区での取組を通じた市の支援策検討は次年度とします。</li> </ul>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7	<p>国勢調査をはじめとする基幹統計調査の確実かつ効率的な実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計調査に係る事務の効率化(外注の検討等)により、調査に伴う市民及び職員の負担軽減を図ります。</li> <li>庁内各部署で実施する統計、アンケート等の結果を市民が利用することができるよう、結果の集約、オープンデータ化を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国勢調査に係る事務の業務委託を1件以上導入します。</li> <li>年度内に統計、アンケート等の調査手順、集計方法等の統一化を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国勢調査に係る事務について、人材派遣会社から1名の派遣により市職員の負担軽減を図ります。</li> <li>実施できませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国勢調査に係る事務は、8月17日から12月11日まで、人材派遣会社職員1名の派遣により職員の負担軽減につながりました。</li> <li>実施できませんでした。</li> </ul>	<p>1月末までに完了しました。</p> <p>結果としては未実施となりましたが、データ活用による市民サービス手法を別途研究しています。</p>

## 令和2年度 市民部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
市民部長 坪井 智美	<p><b>●使命</b> 私たち市民部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像の実現に向かい、健やかでいきいきと暮らしていけるよう生活を支援します。</p> <p><b>●基本方針</b> 市民部の職員一人一人が、市役所の顔である意識を持ち、多様な市民ニーズの的確な把握に努め、常に市民の皆さんの立場に立ち、市民の皆さんに満足していただける迅速かつ正確で質の高いサービスを提供します。</p>	所管課	市民課、税務課、牛窓支所、長船支所、裳掛出張所		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			55人	11人	66人
		一般会計	1,837,094 千円		
		特別会計	4,779,300 千円		
		計	6,616,394 千円		
(うち人件費)	( 388,505) 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>市民のニーズに配慮した窓口サービスに努めます</p> <p>・総合窓口・支所・出張所実施業務を再確認し、効率化に向けた取り組みを行います。</p> <p>・マイナンバーカードの普及に向けて、取得手続きの支援を行います。</p>	<p>・総合窓口・支所・出張所の業務がより効率的にできるよう事務の見直しをするとともに、情報共有を図ります。</p> <p>・マイナンバーカードの利便性をPRし、取得手続きの方法等の周知を行い、交付枚数2割増を目指します。 (前年度交付枚数805枚)</p>	<p>総合窓口で行う業務について、関係部署と連携を密にすることでスムーズな窓口対応に努めています。</p> <p>今年度9月末までの交付枚数は1,457枚となり、昨年度の1.8倍の交付を行っています。</p>	<p>スムーズに総合窓口での対応が出来るように、関係部署と連携を取り、情報共有を図っています。</p> <p>今年度1月末までの交付枚数は3,113枚となり、昨年度の3.8倍の交付を行っています。(交付率21.3%)</p>	<p>総合窓口で受付した申請等の追加手続きが支所出張所でできるよう連携を強化しました。</p> <p>マイナンバーカード専用窓口を設け、総合窓口の混雑を緩和しました。</p> <p>今年度3月末までの交付枚数は4,184枚となり、昨年度の5.2倍の交付を行いました。(交付率24.2%)</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
				1月から、第2、第4日曜日に申請及び交付の休日窓口を開設しました。また、2月に長船会場と牛窓会場で、出張申請窓口を開設しました。	1月から3月の休日窓口において、申請は48件受付し、カードを77枚交付しました。2月の出張窓口では、合計60件の申請を受け付けました。
2	<p>国民健康保険制度の適正運営と国民年金制度を周知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの健康に対する意識の向上を目指し、国民健康保険制度の運営と国民年金制度を周知します。</li> <li>・重症化予防の重要性に関する啓発をし、健診の推進について取り組みます。</li> <li>・未受診者に対して健診の重要性を伝えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診会場での健康相談を行います。</li> <li>・ホームページ等によるわかりやすい広報をします。</li> <li>・歯周病は糖尿病との関連性が高いため、歯科検診の重要性、歯周病の危険性を周知し、歯科検診受診率1割増を目指します。(前年度60件)</li> <li>・未受診者へ、勧奨通知等により健診の重要性を説明し、受診者の増加を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。</li> <li>・随時見直し、更新を行っています。</li> <li>・対象者を抽出し、R3年3月末までに受診してもらうように受診券を送付しました。</li> <li>・特定健診未受診者に対し受診勧奨を10月末に発送します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。</li> <li>・随時見直し、更新を行っています。</li> <li>・R3年3月末までに受診してもらうように受診券を送付しました。(対象者714件)</li> <li>・特定健診未受診者に対し受診勧奨を10月末に発送し、2月にひろいの健診を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で健診会場での健康相談はできませんでした。が、重症化リスクの高い人には電話での健康相談を実施しました。</li> <li>・毎月、広報に国民健康保険及び国民年金の情報を掲載しました。</li> <li>・3月末までを受診期間として歯周病検診の受診は79件となりました。</li> <li>・2月にひろいの健診として未受診者89名に対し集団検診を実施しました。</li> </ul>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>過誤請求、重複請求等を点検するなど、医療費の適正化を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再審査請求の効率化を図り、効果率の向上を目指します。（前年度0.139%）</li> </ul>	<p>再審査効果率は、昨年度同期を上回っています。</p>	<p>再審査効果率は、昨年度同期を1割以上、上回っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再審査効果率は、昨年度同期を1割以上増を維持しています。（2月審査分まで）</li> </ul>	
3	<p>単県医療（小児医療・心身障害者医療・ひとり親家庭等医療）資格証の制度の適正な使用について周知します。</p> <p>後期高齢者の健康寿命の延伸を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単県医療（小児医療・心身障害者医療・ひとり親家庭等医療）資格証の制度の周知を図ります。</li> <li>後期高齢者に自らの健康に対する意識の向上を促し、検診の重要性を伝えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部署との連携を強化し、ホームページや市広報紙等により更なる制度の周知を図ります。</li> <li>集団検診会場で健康相談を行い、健康増進への動機づけを図り、受診数1割増を目指します。（前年度受診者数600件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙6月号で制度の周知を図りました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。（受診者数 522件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部署に制度の適正な使用について再度周知・確認しました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で健康相談は実施できませんでした。しかし、受診者数は増加しました。（受診者数 875件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部署に制度の適正な使用について再度周知・確認しました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で健康相談は実施できませんでした。しかし、受診者数は増加しました。（受診者数 894件）</li> </ul>
4	<p>市民一人一人が人権問題を正しく理解し、実際に行動できるよう、啓発を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画社会の推進のため、講演会・ゼミナール等を実施します。</li> <li>NPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会と連携し、啓発事業を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民向け講座「せとうちゼミナール」や啓発パネル展を実施します。</li> <li>DV防止啓発活動を実施します。</li> <li>各種イベントで啓発パンフレットを配布します。</li> <li>啓発パネル展を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画週間に合わせ、啓発パネル及び参考図書の展示を行いました。</li> <li>11月にパープルリボン運動の実施を予定しています。</li> <li>「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に合わせ、パネル展示及び啓発パンフレット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月に「せとうちゼミナール」を2回開催しました。</li> <li>本庁舎及び図書館でパープルリボンツリーの設置及び啓発グッズの配布を行いました。</li> </ul> <p>同左</p>	<p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権問題の解決に向け、関係機関との連携を図ります。また、新たな視点で事業を計画し、幅広く啓発活動を行います。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に起因するDV被害等を防止するための啓発活動を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権の花運動」「人権ふれあいスポーツ教室」を各種団体と共催して実施します。</li> <li>・人権週間において啓発活動を行います。</li> <li>・ホームページ等で啓発活動を行います。</li> </ul>	<p>の配布を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裳掛小学校で「人権の花運動」「人権ふれあいスポーツ教室」を実施し、児童が人権について考える契機となりました。</li> <li>・人権週間に合わせ、映画の上映や、人権擁護委員と啓発活動の準備をしています。</li> <li>・HP等で、新型コロナウイルスに関する人権侵害防止や相談窓口について、随時発信しています。</li> </ul>	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権週間に映画会を開催し、啓発パンフレットの配布及びパネル展を併せて実施しました。</li> <li>・HP等で、新型コロナウイルスに関する人権侵害防止や相談窓口について、随時更新して発信しています。</li> </ul>	<p>同左</p> <p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり推進課と協働により、HPのトップページにて新型コロナに関する人権侵害防止のロゴを掲載しました。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税への理解を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税の仕組みの大切さを理解してもらえようさらにわかりやすい広報を進めます。</li> </ul>	<p>本年度前半は、緊急的案件として、新型コロナウイルスの影響により収入減少等となった者を対象とした税の減免・猶予制度の広報を中心に取り組み、対象者からの相談・申請に繋がりました。</p>	<p>各税納付書送付時、申告相談前等に、市広報紙、ホームページを中心に広報を行いました。</p>	<p>確定申告、住民税申告の案内に合わせ、広報紙、ホームページにて、所得税、住民税等の仕組みを中心に広報を行いました。</p> <p>また、各納税通知書発送等に合わせ、制度の説明文書を同封し理解を促しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
滞納のないまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正確な課税資料による、適正な課税と業務効率の向上を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料課税の入力、家屋敷課税の調査、未申告者への通知を適切に行います。 未申告者をなくし、公平な課税を実現するために、確定申告や実地調査の実施、税務署との連携による取組を進めます。</li> </ul>	<p>税務署との連携による資料課税処理、家屋敷課税調査については、ほぼ遅滞なく取り組みました。</p>	<p>引き続き、毎月税務署にて課税資料の確認、新築家屋を中心とした現地調査を行っています。</p>	<p>引き続き、毎月税務署にて課税資料の確認を行うとともに、新年度課税に向けて、申告相談会場を設けました。 また、年度を通じ滞りなく課税異動等処理を行いました。 家屋評価件数 172 件 家屋敷課税調査件数 82 件</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政手続きのオンライン化を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定資産税における法務局オンライン化システムの導入に向けた検討を行います。</li> </ul>	<p>固定資産税における法務局オンライン化システムの導入は、市での手続きは完了し、法務局側の体制が整い次第稼働することとなっています。</p>	<p>固定資産税における法務局オンライン化システムの導入は、市での手続きは完了し、法務局側の体制が整い稼働しました。</p>	<p>固定資産税における法務局オンライン化システムが稼働しました。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滞納者の生活実態や財産を正確に把握し、適正な滞納整理を進めます。</li> </ul>	<p>令和 2 年 3 月末収納率一般税（現年分）97.92%以上の収納達成を目指します。また、自発的な納税意識の啓発を行い、滞納額の増加を防ぐため、納税相談等を行います。</p>	<p>9 月末現在収納率一般税 現年 65.53% 滞繰 13.61%</p>	<p>1 月末の収納率は以下のとおりです。 一般税 現年 82.75% （前年比-0.16%） 滞繰 20.26% （前年比-0.74%）</p>	<p>3 月末の収納率は以下のとおりです。 一般税 現年 97.90% （前年比-0.02%） 滞繰 22.50% （前年比-0.95%）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収納率向上のため、県と連携のもと検索実施や合同公売会への参加等を行います。</li> </ul>	<p>検索の実施 検索件数 8 件以上</p>	<p>検索件数 6 件実施</p>	<p>検索件数 8 件</p>	<p>検索件数 8 件</p>	

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
		合同公売会への参加 参加回数1回以上	コロナの関係で開催 は現在検討中です	合同公売会は、コロ ナの影響により今回 は中止となりました。	同左

## 令和2年度 環境部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
環境部長 奥田 幸一	<p><b>●使命</b>                      私たち環境部は、総合計画に掲げる「人と地球にやさしい環境に配慮した美しいまち」実現のため、市民、事業者と行政の協働による、ごみ減量化の推進と、人と地球にやさしい環境負荷の少ない循環型社会を目指します。あわせて、生活関係施設整備（新火葬場整備）を推進していきます。</p> <p><b>●基本方針</b></p> ① 新火葬場の整備を推進します。 ② 地球温暖化防止対策を推進します。 ③ ごみの減量及び効率的な処理を目指します。 ④ 消費生活センターの充実を図り、消費者被害の防止に努めます。 ⑤ 環境保全対策を推進します。	所管課	環境課、クリーンセンターかもめ、長船衛生センター、長船クリーンセンター、消費生活センター		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			14人	14人	28人
		一般会計	729,563		千円
		特別会計			千円
		計	729,563		千円
(うち人件費)	( 111,178		千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 新火葬場の整備の推進	岡山市との広域整備にかかる基本協定を締結し、I C・造成工事に着手します。また、新火葬場本体工事にかかる事業手法を検討します。	岡山市との協議を進め、広域整備にかかる基本協定を締結するとともに、新火葬場のI C・造成工事に着手します。  新火葬場建物や火葬炉にかかる建築工事の事業手法を検討します。	9月18日に新火葬場整備に係る規約及び補正予算が可決されました。  建築工事の事業手法を検討しています。	12月17日に新火葬場専用I C・造成工事に着手しました。また、規約及び協定に基づき岡山市との連絡会議を立ち上げました。  建築工事の事業手法を検討しています。	新火葬場専用I C・造成工事を施工しています。また、規約及び協定に基づき2月1日に岡山市との連絡会議を開催しました。  建築工事は設計施工一括発注方式を選定し業務を進めます。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 地球温暖化防止対策の推進	地球温暖化対策計画（平成 28 年 5 月 13 日閣議決定）に基づき、温室効果ガス排出量を 2030 年度に 2013 年度比 26%削減を目指して各種施策を推進します。	公共施設等先進的CO <sub>2</sub> 排出削減対策モデル事業により、市内省エネ改修施設でのデマンド制御を運用し、二酸化炭素の排出量を年間 60.4 t-CO <sub>2</sub> 削減します。 また、市民に向けて市ホームページ等で事業の周知を図ります。	4月から全施設でのデマンド制御の運用を開始しました。 本年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、特に本事業の対象施設の半数以上を占める学校施設では、窓の一部を開放し、常時換気を行いながら空調機を使用したため、想定外の負荷がかかり、現時点では目標達成に至っておりません。 デマンド制御システム自体は正常に稼働しており、電力使用量を抑制することができています。	新型コロナウイルス感染症の影響により、CO <sub>2</sub> 排出削減の目標達成には届いておりません。 今後も新型コロナウイルス感染症対策での換気量確保とともに、可能な範囲でデマンド制御システムを運用し、電力使用量を抑制していきます。 デマンド制御システム自体は正常に稼働しており、電力使用量を抑制することができています。	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、各施設での常時換気の実施や、小中学校での夏季休業期間における授業の実施が要因となり、空調の電力使用量が増加したため、デマンド制御運用によるCO <sub>2</sub> 排出削減目標は達成できませんでした。 なお、事業全体でのCO <sub>2</sub> 削減量は、LED照明への更新及び太陽光発電による削減効果で、年間目標値（504.57 t-CO <sub>2</sub> ）に対し 79.3%の達成率になりました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況																														
3	<p>ごみの排出抑制や循環型社会施策の推進と環境関連施設の適正な維持管理</p> <p>プラスチック製容器包装の分別適正化の推進を図ります。ごみ減量化と人的負担の軽減を図るため、出前講座、広報紙などを通して啓発を行い、プラと対象外プラ商品との分別徹底を図ります。</p> <p>生ごみの減量化、減容化の推進を行います。可燃ごみの減量化対策として既に多品目分別による資源化施策を行っています。残る生ごみ処理についても微生物資材等を活用した生ごみ処理事業の推進により、可燃ごみの減量化を推進します。</p> <p>2施設あるごみ分別施設の機能の集約化を行い、分別作業の向上や効率化を図ります。</p>	<p>ごみ減量率は、令和2年度末で17%を目指します。</p> <p>ごみ減量率の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>家庭系可燃ごみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>4.0%</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>8.4%</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>10.7%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>13.8%</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>14.6%</td> <td>13.9%</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>16.0%</td> <td>15.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>16.1%</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>16.1%</td> <td>15.8%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>13.3%</td> <td>12.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	全体	家庭系可燃ごみ	23年度	4.0%	4.2%	24年度	8.4%	6.9%	25年度	10.7%	9.2%	26年度	13.8%	14.6%	27年度	14.6%	13.9%	28年度	16.0%	15.5%	29年度	16.1%	14.7%	30年度	16.1%	15.8%	元年度	13.3%	12.3%	<p>ごみ減量率は、次のとおりです。</p> <p>4月末 14.9%</p> <p>5月末 13.0%</p> <p>6月末 11.1%</p> <p>7月末 10.7%</p> <p>8月末 11.3%</p> <p>参考：R元.9月末 11.5%</p>	<p>ごみ減量率は、次のとおりです。</p> <p>9月末 12.1%</p> <p>10月末 12.9%</p> <p>11月末 13.2%</p> <p>12月末 13.3%</p> <p>1月末 14.0%</p>	<p>コロナ禍で家庭ごみの量が増えたため目標にはいたりませんでした。ごみの減量率は、次のとおりです。</p> <p>2月末 14.8%</p> <p>3月末 14.8%</p> <p>参考 R2.3月末 13.3%</p>
		年度	全体	家庭系可燃ごみ																															
23年度	4.0%	4.2%																																	
24年度	8.4%	6.9%																																	
25年度	10.7%	9.2%																																	
26年度	13.8%	14.6%																																	
27年度	14.6%	13.9%																																	
28年度	16.0%	15.5%																																	
29年度	16.1%	14.7%																																	
30年度	16.1%	15.8%																																	
元年度	13.3%	12.3%																																	
<p>生ごみ処理機購入補助事業の促進を行います。目標35件(R元年度実績14件)</p> <p>クリーンセンターかもめ内に、不燃粗大・古紙類・プラスチック製容器包装等のストックヤード整備を行います。本年度は施設集約化実施設計を実施します。</p>	<p>生ごみ処理機26台に対し補助金を交付しました。</p> <p>実施設計を策定中です。</p>	<p>生ごみ処理機39台に対し補助金を交付しました。</p> <p>同左</p>	<p>生ごみ処理機42台に対し補助金を交付しました。(令和元年実績14件)</p> <p>実施設計が完了しました。</p>																																

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
4	<p>消費者被害の防止</p> <p>瀬戸内市消費生活センターの認知度を向上させます。</p> <p>警察や関係機関との連携を行うと共に、被害の防止と解決に資する機関として機能の充実に努めます。</p> <p>被害に遭わないための消費者知識を身に付けるため消費者教育を推進します。また、被害に遭いやすい高齢者を見守る人たちへの啓発活動を行い、被害防止や被害の早期発見を目指します。</p>	<p>公共施設等で巡回啓発パネル展示を実施し認知度の向上を図ります。</p> <p>市民図書館に消費者教育コーナーを設置し関連図書並びにパンフレットを配置し消費者教育に関する図書の紹介、貸出を行います。</p> <p>目標 巡回啓発パネル展4回</p> <p>広報紙、出前講座などを通して相談事例や被害に遭わないためのアドバイス、消費生活の豆知識の紹介をします。</p> <p>特殊詐欺の主な被害者である高齢者に対し、防犯機能付き電話機の購入費の一部を補助し、特殊詐欺の被害防止を図ります。</p> <p>目標台数 : 20台</p>	<p>巡回パネル展は現在未実施。</p> <p>市民図書館での消費者教育コーナーは現在未実施。</p> <p>広報せとうちに「消費者生活安心ホットライフ」を1回掲載。出前講座を1回開催しました。</p> <p>防犯機能付き電話機の購入に対し20台補助金を交付しました。</p>	<p>社協 令和2年10月26日～12月25日実施済 同左</p> <p>広報せとうちに「消費者生活安心ホットライフ」を4回掲載。出前講座を2回開催しました。</p> <p>防犯機能付き電話機の購入に対し41台補助金を交付しました。</p>	<p>巡回パネル展を目標回数の4回開催しました。 同左</p> <p>同左</p> <p>防犯機能付き電話機の購入に対し50台補助金を交付しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	<p>生活環境の保全</p> <p>瀬戸内市の生活環境保全のため、市民及び事業者に対する啓発活動を充実します。</p>	<p>広報紙に啓発記事を定期的に掲載するとともに、市ホームページを見直し、啓発活動の強化を図ります。</p>	<p>広報せとうち4月号に水質事故防止の記事を掲載しました。</p>	<p>食品ロスについて記事を掲載しました。</p>	<p>広報紙に啓発記事を2回掲載しました。</p>
	<p>飼い主のいない猫の繁殖を抑制するとともに、糞尿等による生活環境被害を防止し、併せて市民の動物に対する愛護意識の高揚を図ります。</p>	<p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の補助を行い、繁殖を抑制します。 目標数：20 頭</p>	<p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対し17 頭の補助金交付を行いました。</p>	<p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対し52 頭の補助金交付を行いました。</p>	<p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対し57 頭の補助金交付を行いました。 (R 元年度実績 89 頭)</p>
	<p>河川の水質保全に向けて、下水道計画区域外における合併処理浄化槽の整備を推進します。</p>	<p>114 基の合併処理浄化槽の設置を目指します。</p>	<p>合併浄化槽の設置が完了した17 基に対し補助金を交付しました。</p>	<p>合併浄化槽の設置が完了した60 基に対し補助金を交付しました。</p>	<p>住宅の新築や改修が減り目標数には達しませんでした。 合併浄化槽の設置が完了した78 基に対し補助金を交付しました。 (R 元年度実績 91 基)</p>

## 令和2年度 福祉部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
福祉部長 青山 祐志	<p>●使命 福祉部は、高齢者、障がい者、生活困窮者の方々等が、住み慣れた地域で、笑顔で暮らすことができるように、相談窓口や各種福祉・介護サービスの充実を図るとともに、関係者の連携を深め、共に支えあう地域づくりを大切にした福祉行政を推進します。</p> <p>●基本方針 ①障がい者や生活困窮者が自立し活躍できるよう、相談体制を強化するとともに、就労支援体制の充実を図ります。 ②高齢者が安心して元気に生活できるよう、高齢者の社会参加を促進するとともに、高齢者支援や介護予防など、ニーズに合った介護・福祉サービスの充実を図ります。 ③誰もが住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けるまちを目指して、地域包括ケアシステムの充実に努めます。</p>	所管課	福祉課・いきいき長寿課・トータルサポートセンター		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			27人	20人	47人
		一般会計	2,960,306 千円		
		特別会計	4,517,499 千円		
		計	7,477,805 千円		
		(うち人件費)	(242,588 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 生活困窮者自立支援事業及び障害者相談支援事業の充実	<p>自立相談支援事業及び家計相談支援事業を、委託先の社会福祉協議会と連携して実施します。</p> <p>また、就労準備支援事業を実施し、就労能力が低いなどの課題を抱える人に対して、就労の機会を提供し、就職活動等の総合的な支援や就労体験等を通じて最終的に一般就労に結びつけ、自立を促進します。</p> <p>障害者相談支援事業を、委託先の障害者相談支援事業所と連携して実施します。</p> <p>事業の推進により、市内の障害のある人及びその家族等に対して、福祉サービス等の社会資源に関する情報提供を行い、関係機関と連携を取りながら、障害のある人の地域生活を支援します。</p> <p>第3期地域福祉計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画を策定します。</p>	<p>生活困窮者に対する第2のセーフティネットとして設置した生活相談支援センターの利用促進や運営を支援します。また、センターやジョブスポットせとうちと生活相談支援員との連携により就労支援を実施し、生活困窮者の生活が安定するよう努めます。</p> <p>・目標就労者数 年間15人</p> <p>委託先の障害者相談支援事業所との連携を図り、地域課題を把握し、民生委員やトータルサポートセンター（障害者基幹相談支援事業）等の関係機関との連携を強化し、相談支援体制の充実に努めます。</p> <p>・目標相談支援件数 年間300件</p> <p>誰もが役割を持ち、活躍できる、地域共生社会の実現に向けて、ひきこもり等の予防的福祉の推進や包括的支援体制の構築などを盛り込んだ計画を策定します。</p> <p>障がい者・障がい児が安心して暮らせるよう施策の推進のため、計画を策定します。</p>	<p>生活相談支援センター、ジョブスポット、就労支援員の連携により、就労支援を実施しています。</p> <p>9月末 就労者数 5人</p> <p>委託先の障害者相談支援事業所との連携を図り、相談支援体制の充実に努めています。</p> <p>9月末 相談支援件数 160件</p> <p>9月上旬に計画策定支援事業者が決定しています。今後市民アンケート調査を実施し、計画策定のための資源とします。また、策定委員会の開催を3回予定しています。</p>	<p>生活相談支援センター、ジョブスポット、就労支援員の連携により、就労支援を実施しています。</p> <p>1月末 就労者数 7人</p> <p>委託先の障害者相談支援事業所との連携を図り、相談支援体制の充実に努めています。</p> <p>1月末 相談支援件数 289件</p> <p>策定委員会を2回開催しました。策定委員からの意見を踏まえ、計画素案を作成し、2月中旬よりパブリックコメントの実施を予定しています。</p>	<p>関係機関との連携により、就労支援を実施しました。</p> <p>また、支援対象者と信頼関係を築き、きめ細かい支援を実施しました。</p> <p>3月末 就労者数 9人</p> <p>委託先の障害者相談支援事業所と連携して、事業所への助言を行うなど相談支援体制の充実に努めました。</p> <p>3月末 相談支援件数 336件 (新規 40) ±0 (継続 296) +71 前年比</p> <p>第3期地域福祉計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画を策定しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
2	高齢者福祉の推進	認知症施策を推進します。	認知症高齢者の地域での見守りと行方不明時の対応の充実に取り組みます。 認知症サポーター養成講座修了者数(新規) 200人 高齢者徘徊対策促進事業登録者数(新規) 5人	認知症サポーター養成講座は10月から開催予定です。  高齢者徘徊対策促進事業(新規)登録者数 5人	認知症サポーター養成講座修了者数 388人  高齢者徘徊対策促進事業(新規)登録者数 12人	同左  高齢者徘徊対策促進事業(新規)登録者数 14人
	高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定します。	高齢者が生きがいをもって住み慣れた地域で暮らせるよう、地域の実情に応じた計画的な施策の推進のため、計画の策定を行います。	今年度、策定委員会をこれまでに2回開催し、議論を重ねています。	12月から1月にかけてパブリックコメントを実施しました。	高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定しました。	
	介護サービス介護給付の適正化を推進します。	事業者指導の推進を図ります。 地域密着型サービス事業所 3事業所 居宅介護支援事業所 4事業所	10月から地域密着型サービス事業所3事業所、居宅介護支援事業所4事業所、認知症対応型共同生活介護事業所2事業所で実施します。	地域密着型サービス事業所2事業所、居宅介護支援事業所3事業所の実地指導を実施しました。	新型コロナウイルス感染症のため、目標に届きませんでした。 地域密着型サービス事業所 2事業所 居宅介護支援事業所 3事業所	
	介護予防・日常生活支援総合事業を通じた地域づくりに努めます。	介護予防・日常生活支援総合事業について、関係機関で情報を共有しながら、支援内容、取組み方法等の見直しを行います。 生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体会議開催回数 1回以上	生活支援・介護予防サービス提供主体等協議会は1回開催する予定です。	同左	新型コロナウイルス感染症対応もあり、実施に至りませんでした。	
		地域包括支援センターにコーディネータを配置し、連携を行いながら地域づくりを行っていきます。	感染症の影響で中止していた地域でのはつらつ教室OB会も感染症対策を職員が訪	はつらつ教室は感染症対策を講じながら、実施しています。	感染症対策を講じながらの再開となったため、目標に届きませんでした。	

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>高齢者が生きがいを感じるができる施策の実施を検討します。</p>	<p>はつらつ教室（新規） 5カ所 参加目標実人数 100人 はつらつ教室 OB会（累計） 110カ所</p> <p>介護予防リーダーを育成し、地域での活動支援を行います。 介護予防リーダー育成 20人 介護予防リーダー活動者（累計） 75人</p> <p>生涯現役促進協議会と連携し、各種事業の実施の推進を図ります。</p>	<p>問い合わせしながら現在は98カ所中89カ所で実施されています。 10月からは再開したすべての教室の訪問（3回目）を実施し、再度安全な実施へのアドバイスと参加者の声を聴く予定です。 新規のはつらつ教室については、昨年度から継続となった4会場のうち、2会場を再開します。状況を見ながら2会場も再開する予定です。</p> <p>コロナ禍のため、育成研修に替え、10月に2回に分けて介護予防リーダーの資質向上研修（お久しぶり会）を実施する予定です。50人の参加予定です。救急法やこれからの活動の検討を行う予定です。</p> <p>生涯現役促進協議会は8月に窓口を開設し、10月から本格的に事業を実施します。</p>	<p>新規のはつらつ教室についても再開した2会場は終了し、残り2会場のうち1会場は実施中です。</p> <p>10月に2回に分けて介護予防リーダーの資質向上研修（お久しぶり会）を実施し、47人の参加がありました。次回開催を2月24日、26日に予定しています。</p> <p>10月10日のセミナーを含め、農業、創業等の各種研修会を開催し、延272人の参加がありました。</p>	<p>はつらつ教室（新規） 3カ所 参加目標実人数 44人 はつらつ教室 OB会（累計） 98カ所</p> <p>コロナ禍のため、育成研修の実施には至りませんでした。リーダーの資質向上研修は、4回開催し、95人の参加がありました。介護予防リーダー活動者（累計） 62人</p> <p>10月10日のセミナーを含め、農業、創業等の各種研修会を開催し、延302人の参加がありました。支</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
					援の結果、15人の方の就労等に結びつきました。	
3	保健、福祉、医療連携の深化・推進	<p>できる限り住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けながら、必要な医療や福祉サービスを受けられるような、地域ネットワークの充実強化を推進します。</p>	<p>市内の医療・福祉・介護関係機関が連携を深められるよう、多数の関係機関が参加できる専門職研修会等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 研修会あたり市内関係機関目標参加率 <ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関 21%</li> <li>介護機関 43%</li> <li>障がい福祉機関 34%</li> </ul> </li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の発生状況や感染防止対策等を鑑み、今年度中の開催は中止しています。</p>	同左	同左
		<p>障がいのある人への支援の質の向上を図るため、障がい福祉機関・介護機関の職員等を対象とした研修会や意見交換会を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 研修会あたり市内関係機関目標参加率 <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉機関 40%</li> </ul> </li> </ul> <p>在宅医療・福祉に係る支援を必要とする人に、適切な対応ができるよう関係機関との連携を強化し、相談支援体制の充実に努めます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の発生状況や感染防止対策等を鑑み、研修会については、今年度中の開催は中止しています。</p> <p>基幹相談支援意見交換会 2回 障がい福祉機関100%</p>	同左	同左	同左
		<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症初期集中支援に係る新規訪問支援対象者数 10件以上</li> <li>在宅医療・福祉に係る相談支援件数</li> </ul>	<p>新規訪問支援対象者数 1件</p> <p>在宅医療・福祉に係る相談支援件数</p>	<p>新規訪問支援対象者数 2件</p> <p>在宅医療・福祉に係る相談支援件数</p>	同左	同左

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>関係部署・関係機関との協働により作成した地域包括ケア実行計画に基づき、年次目標が達成できるよう多職種との連携調整を図ります。</p> <p>地域包括ケアシステムを踏まえた在宅医療・介護推進、基幹相談支援機能について、市民・地域住民への普及啓発を行います。</p>	<p>延べ350件以上 (再掲) 関係機関への連携件数 延べ160件以上</p> <p>ケアネットせとうちホームページ介護・医療・福祉専門職専用サイトの見直し、有効活用を図るため、利用状況に関するアンケートを実施します。 1回</p> <p>市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会で、地域包括ケア実行計画等の進捗、取組状況の報告、情報交換を行います。 ・協議会会議開催 4回 (委員数 17人)</p> <p>市民・地域住民への普及啓発のため、広報媒体を活用します。 ・広報せとうち記事掲載2回 ・ケアネットせとうち通信 発行3回</p>	<p>延 351件</p> <p>関係機関への連携 延 92件</p> <p>実施回数 1回</p> <p>会議開催 2回 出席委員 延31人</p> <p>広報せとうち記事 掲載 1回</p>	<p>延 606件</p> <p>関係機関への連携 延 137件</p> <p>同左</p> <p>会議開催 3回 出席委員 延45人</p> <p>広報せとうち記事 掲載 2回 ケアネットせとうち 通信 発行 2回</p>	<p>延 747件</p> <p>関係機関への連携 延 149件</p> <p>同左</p> <p>会議開催 4回 出席委員 延60人</p> <p>同左</p> <p>ケアネットせとうち 通信 発行 3回</p>

## 令和2年度 こども・健康部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
こども・健康部長 難波 彰生  	<p>●使命 こども・健康部は、安心して子どもが産めるまち、生まれた子どもたちを健やかに育てられるまちを目指して、子どもと子育てを応援する環境づくりを推進します。 また、乳幼児から高齢者まで、すべての市民が心豊かではつらつとした人生を送れるよう、心と体の健康づくりを推進します。</p> <p>●基本方針</p> <p>① 地域の関係機関や行政機関とのネットワークを充実させることによって、結婚、妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援を提供できる子育て環境づくりを推進します。</p> <p>② 幼児教育、保育、放課後児童対策を充実させることによって、子どもが道徳性を生活の中で身につけ、心豊かに成長していくことができる環境づくりを推進します。</p> <p>③ 子どもを安心して預けられる保育園・こども園の管理・運営や、病児・病後児保育を充実することで、安心して子育てできる環境づくりを推進します。</p> <p>④ 市民が自分らしい豊かな人生を送ることができるよう、地域ぐるみで心と体の健康づくりを推進します。</p> <p>⑤ 岡山県や備前保健所、関係機関等と連携して感染症に係る情報を収集するとともに、市民への感染予防策の普及啓発により、感染症対策を推進します。</p>	所管課	こども政策課・子育て支援課（公立保育園）・健康づくり推進課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			104人	112人	216人
		一般会計	2,588,651 千円		
		特別会計	— 千円		
		計	2,588,651 千円		
		(うち人件費)	( 833,612 千円)		

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	安心して子育てできる環境づくりの推進	<p>外遊びを通じて、子どもの健全な発育を促し、子育て不安の解消に努めます。また地域住民との協働により外遊びを実施し、住民が子育てに関心を持つことで安心して子育てができる環境づくりを目指します。</p> <p>次世代が安心して子育てできる環境づくりを目指して、結婚支援を推進します。</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、こどもひろばを開催します。</p> <p>開催回数 年間 60回 うち地域主体 18回 参加市民の数 延2,780人 (ボランティア延80人含む)</p> <p>結婚希望を持つ人の出会いの場を創出するために婚活・結婚応援イベントを開催します。</p> <p>開催回数 年間 1回 参加者数 40人</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、こどもひろばを開催しています。</p> <p>開催回数 6回 うち地域主体 1回 参加市民 延434人 (ボランティア延26人含む)</p> <p>コロナ禍で婚活・結婚応援イベントの開催は難しいが、縁結びサポーターによる効果的な支援を検討しています。</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、こどもひろばを開催しています。</p> <p>開催回数 56回 うち地域主体 16回 参加市民延2,725人 (ボランティア延91人含む)</p> <p>コロナ禍で婚活・結婚応援イベントの開催は難しいが、縁結びサポーターによる相談会を開催しました。</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、こどもひろばを開催しました。</p> <p>開催回数 74回 うち地域主体 20回 参加市民延3,300人 (ボランティア延148人含む)</p> <p>コロナ禍で婚活・結婚応援イベントの開催はできませんでした。縁結びサポーターによる相談会を開催しました。</p> <p>開催回数 2回 相談者数 6人</p>
2	子どもの健全育成のための環境づくりの推進	<p>子どもが生活の中で道徳性を身につけ、心豊かに成長していくことができる環境を目指して、保育園・こども園・放課後児童クラブの施設整備について検討を行います。</p>	<p>利用状況や保護者のニーズを踏まえ、民間誘致等も含めた施設整備のあり方を検討し、順次整備を進めます。</p>	<p>利用ニーズの高い邑久小学校区において、民間こども園誘致に向けて用地取得を検討しています。</p>	<p>利用ニーズの高い邑久小学校区において、民間こども園誘致に向けて用地取得の仮契約を締結しました。</p>	<p>利用ニーズの高い邑久小学校区において、民間こども園誘致に向けて用地を取得しました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
3	子育て環境の充実	<p>子どもの急な病気時でも安心して働けるよう、病児・病後児保育の充実を図ります。</p> <p>子どもを安心して預けられる保育園・こども園を管理・運営します。</p> <p>子育て中の孤立化や児童虐待を予防するため、関係機関との状況共有会議を実施し、安心して子育てができる環境づくりに努めます</p>	<p>病児・病後児保育施設を総合福祉センターに整備し、市民病院と連携しながら安定的に運営していきます。</p> <p>教育・保育給付認定のほか、3・4・5歳児の幼児教育の無償化にかかる施設等利用給付認定を安定的に行っていきます。</p> <p>待機児童 0人</p> <p>警察、児童相談所、教委等と情報を共有しながら、見守りを行います。また、その中で個別の会議を適時開催し、改善方を協議し、状況の改善に努めます。</p> <p>代表者会議 年1回 実務者会議 年12回 個別ケース検討会議 年60回</p>	<p>12月の開所を目指し市民病院と連携しながら、準備を進めています。</p> <p>引き続き、教育・保育給付認定や施設等利用給付認定を安定的に行っていきます。</p> <p>待機児童 9人</p> <p>代表者会議を1回(7月)、実務者会議を6回(毎月)、個別ケース検討会議を20回(随時)実施しています。今後も関係機関との情報共有を継続していきます。</p>	<p>12月7日から瀬戸内市民病院病児保育室さんさんキッズが開所しました。</p> <p>引き続き、教育・保育給付認定や施設等利用給付認定を安定的に行っていきます。</p> <p>待機児童 14人</p> <p>代表者会議を1回(7月)、実務者会議を10回(毎月)、個別ケース検討会議を25回(随時)実施しています。今後も関係機関との情報共有を継続していきます。</p>	<p>12月7日から瀬戸内市民病院病児保育室さんさんキッズが開所し利用につながりました。利用者8人</p> <p>教育・保育給付認定や施設等利用給付認定を行ってきましたが、年度途中から待機児童が出ました。待機児童 14人</p> <p>代表者会議を1回(7月)、実務者会議を12回(毎月)、個別ケース検討会議を34回実施し、要保護対象家庭の支援に努めました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	心と体の健康づくりの推進	<p>安心して出産・育児できるよう関係機関等の多職種と連携して、切れ目のない相談支援体制を充実強化します。</p> <p>妊娠届時の保健師・助産師の面談率 85%以上</p> <p>対象別相談支援件数 ・妊婦の訪問・相談件数 訪問 実人数 30人以上 相談 延人数280人以上 ・乳児家庭全戸訪問 200人以上</p> <p>臨床心理士による相談 実人数 150人以上 延人数 270人以上 巡回相談 5回 ケース会議 10回</p> <p>働き盛り世代の健康管理の意識向上を図るため、がん検診の機会を増やします。</p> <p>各種がん検診を休日や夕方 に実施します。 休日夕方がん検診 6回</p> <p>胃、大腸、肺、子宮、乳がん 検診の精密検査受診率 90%以上</p>	<p>妊娠届時の保健師・助産師の面談率 84.5%</p> <p>対象別相談支援件数 ・妊婦の訪問・相談 訪問実人数 3人 相談延人数 218人 ・乳児家庭全戸訪問 87人</p> <p>臨床心理士による相談 実人数 90人 延人数 261人 巡回相談 4回 ケース会議 7回</p> <p>休日・夕方がん検診 2回</p> <p>子宮がん検診 100% 乳がん検診 75% 胃がん検診の精密検査対象者はいない。 肺がん検診・大腸がん検診は精密検査対象者に通知した段階のため受診実績はない。</p>	<p>妊娠届時の保健師・助産師の面談率 86.7%</p> <p>対象別相談支援件数 ・妊婦の訪問・相談 訪問実人数 9人 相談延人数 354人 ・乳児家庭全戸訪問 139人</p> <p>臨床心理士による相談 実人数 103人 延人数 329人 巡回相談 6回 ケース会議 9回</p> <p>同左</p> <p>子宮がん検診53.3% 乳がん検診 86.5% 胃がん検診 92.1%</p> <p>肺がん検診 96.4% 大腸がん検診85%</p>	<p>妊娠届時の保健師・助産師の面談率 83.4%</p> <p>対象別相談支援件数 ・妊婦の訪問・相談 訪問実人数 10人 相談延人数 431人 ・乳児家庭全戸訪問 166人</p> <p>臨床心理士による相談 実人数 167人 延人数 430人 巡回相談 7回 ケース会議 13回</p> <p>同左</p> <p>子宮がん検診72.2% 乳がん検診 83.9% 胃がん検診 97.4%</p> <p>肺がん検診 89.3% 大腸がん検診87.6%</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>不安や悩みを抱える人が、早期に相談につながり、自分らしく安心して生活できるよう、こころの健康づくりを推進します。</p> <p>健康増進及び食育について普及啓発を行い、市民の健康づくりを推進します。</p>	<p>こころの健康づくりを推進するため、こころ健康相談を実施します。</p> <p>こころの健康相談 12回 新規利用者実人数 10人 保健師相談延人数 150人</p> <p>健康増進及び食育について普及啓発します。</p> <p>広報せとうち記事掲載 12回以上</p> <p>保育園等における食育推進の出前講座 5回以上</p>	<p>こころの健康相談 6回 新規利用者実人数 5人 保健師相談（面接）延人数 86人</p> <p>広報せとうち記事掲載 16回</p> <p>保育園等における食育推進の出前講座 5回</p>	<p>こころの健康相談 10回 新規利用者実人数 8人 保健師相談（面接）延人数 146人</p> <p>広報せとうち記事掲載 22回</p> <p>保育園等における食育推進の出前講座 9回</p>	<p>こころの健康相談 12回 新規利用者実人数 9人 保健師相談（面接）延人数 183人</p> <p>広報せとうち記事掲載 25回</p> <p>同左</p>
5	<p>感染症予防策の普及啓発による感染症対策の推進</p> <p>新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防ぐため、岡山県や備前保健所等、関係機関と連携を強化し、感染症予防について普及啓発を行います。</p>	<p>各種感染症の感染状況に応じた感染症予防策を普及啓発します。</p> <p>広報せとうち・市ホームページ・メルマガ等による啓発 12回以上</p> <p>風しん抗体検査・予防接種の受検勧奨を行います。</p> <p>成人の風しん抗体検査受検率 25%以上</p>	<p>市ホームページによる啓発 21回 チラシによる啓発 2回</p> <p>風しん抗体検査対象者に対し、4月にクーポン送付及び受検案内、9月には愛育委員によるチラシ回覧で市内全体に受検勧奨の周知を行った。</p> <p>成人の風しん抗体検査 受検率16%（9月請求分まで）</p>	<p>市ホームページによる啓発 38回 チラシによる啓発（広報への折込含） 5回 広報紙への記事掲載 7回</p> <p>成人の風しん抗体検査 受検率 20.1%（1月請求分まで）</p>	<p>市ホームページによる啓発 40回 同左</p> <p>同左</p> <p>成人の風しん抗体検査 受検率 20.7%（3月請求分まで）</p>

## 令和2年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
<p style="text-align: center;">産業建設部長 難波 利光</p> 	<p><b>●使命</b></p> <p>私たち産業建設部は、道路環境を始めとした安全・安心に生活できる住環境の整備を進めます。さらに、インフラ施設の充実・長寿命化を図ることで、災害に強いまちづくりを目指します。</p> <p>また、農業や漁業に魅力を感じ、持続的に取り組む事ができる基盤作りを進め、併せて、地域が元気に活力を得ながら発展できるよう、企業誘致や中小企業振興等にも力を入れながら施策を展開し、産業の活性化を進めます。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①総合治水基本計画を基に、河川の氾濫や高潮等への備えとなる防災対策事業を計画的に実施します。</p> <p>②長寿命化計画に基づき、生活道路等の年次的な整備を行います。</p> <p>③JR3駅の駅前等整備事業を積極的に促進します。</p> <p>④農地を維持し、インフラ資源の質的向上を図るため、農業用施設の適正な維持管理が行えるよう事業の促進に努めます。</p> <p>⑤担い手の育成や耕作放棄地対策等の事業に取り組むことで、農林水産業の活性化を後押しします。</p> <p>⑥深刻化する有害鳥獣による農作物への被害を抑えるため、積極的に対策事業を進めていきます。</p> <p>⑦地域産業の担い手である市内の小規模事業者や中小企業者のための振興対策を積極的に推進します。</p> <p>⑧投資による雇用・税収を確保するため、農村地域産業導入促進法による企業誘致を促進します。</p>	所管課	建設課・産業振興課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			27人	7人	34人
		一般会計	3,535,214 千円		
		特別会計	166,199 千円		
		計	3,701,413 千円		
		(うち人件費)	(242,835 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	河川、高潮、住宅の耐震化等の防災対策の推進	総合治水基本計画を基に、防災対策事業の検討を進め、大雨、台風等による河川氾濫、高潮対策等へ備えます。	総合治水基本計画の対策のうち、実現可能な案の検討を行います。高潮対策については仮設ポンプを設置し内水排除を行います。	県管理河川は基本計画策定中のため、市単独にて実現可能な対策を検討中です。豪雨対策として、7月に仮設ポンプを設置しました。	県管理河川を対象外とした市で実施できる基本計画を暫定版として作成中。豪雨対策の仮設ポンプは10月末で撤去しました。	県管理河川を対象外とした市で実施できる基本計画を暫定版として作成しました。今後、関係部署と調整を図ります。
2	長寿命化計画に基づく、生活道路等の整備	<p>市道橋梁の5年に1回の法定点検が2巡目となり、市職員及び専門業者による橋梁点検を実施し健全度の診断を行い、予防保全の観点から早期補修を行うなど、適正な管理を進めます。</p> <p>地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。</p> <p>老朽化や耐用年数を超過した市営住宅において、将来のストック量を検討し建替えや効率的で適正な維持管理について、市営住宅長寿命化計画の策定を進めます。</p>	<p>市道の橋梁 580 橋のうち、今年度は 106 橋の法定点検を実施します。</p> <p>生活道路改良工事では舗装修繕を含め、20 路線を実施します。</p> <p>生活道路維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率 60%以上を目指します。</p> <p>市営住宅長寿命化計画を策定します。</p>	<p>86橋について発注済み。20橋については直営点検を実施中。29路線の工事発注を行い、2路線工事完了。</p> <p>要望件数207件に対し81件対応し実施率 39%。</p> <p>市営住宅長寿命化計画を発注済み。</p>	<p>106橋について点検完了済み。</p> <p>38路線の工事発注を行い、16路線工事完了。</p> <p>要望件数302件に対し142件対応し実施率47%。</p> <p>市営住宅長寿命化計画の策定中。</p>	<p>106橋について点検を完了しました。</p> <p>43路線の工事が完了しました。1路線繰越。</p> <p>要望件数359件に対し183件対応し実施率51%でした。</p> <p>市営住宅長寿命化計画を策定しました。</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	J R 駅前等整備事業の推進	市内に3駅あるJ R 駅前等整備計画の短期計画の早期実現に向けて、関係者との調整を図り、安全な工事を進めます。	駅利用者等の安全に配慮した施工計画にて、令和4年度完成を目指し3駅とも地元説明会を開催し工事に取り掛かります。	大富駅、長船駅の地元説明会を終え、工事発注の準備完了。邑久駅は安全性・利便性の向上のため、計画修正を発注の準備完了。	3駅とも着手可能な箇所から工事発注し、工事着手。邑久駅の計画修正は関係機関と調整しながら検討中。	3駅とも着手可能な箇所から工事発注し、工事に着手しました。邑久駅の計画修正は繰越業務にて引き続き関係機関と調整しながら検討しています。
4	農業用施設の適切な維持管理	<p>農地の維持や農地・水路・農道等の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを進めます。</p> <p>農道橋、法定外橋梁の管理者として橋梁点検を実施し健全性の診断を行い、予防保全の観点から早期補修を行うなど、適正な管理を進めます。</p> <p>農業用ため池の防災・減災対策として、5年に1回ため池点検を実施し健全性の診断を行い、予防保全の観点から早期補修・廃止を行うなど、適正な管理を進めます。</p>	<p>農業用施設維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率60%以上を目指します。</p> <p>農道橋、法定外橋梁19橋のうち、今年度は11橋の橋梁点検を実施します。</p> <p>農業用ため池633池のうち、今年度は50池のため池点検を実施します。</p>	<p>要望件数128件に対し51件対応し実施率40%。</p> <p>11橋の橋梁点検を発注済み。</p> <p>27池のため池点検を発注済み。23池は直営点検を予定。</p>	<p>要望件数181件に対し94件対応し実施率52%。</p> <p>11橋について点検完了済み。</p> <p>68池のため池について点検完了済み。</p>	<p>要望件数221件に対し123件対応し実施率56%でした。</p> <p>11橋について点検を完了しました。</p> <p>68池のため池について点検を完了しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	農林水産業の活性化  適切な森林経営管理を推進します。  農業者、漁業者の新規就業者確保とその支援を行います。	耕作放棄地の復旧及び耕作放棄地防止対策の検討を行います。  森林環境譲与税を活用した現況調査 20ha  農業の新規就業者 3人 漁業の新規就業者 1人	補助事業等を活用しながら、耕作放棄地の年間活用面積を3ha増加します。 瀬戸内市振興公社等関係機関と連携した耕作放棄地防止に関する新たな制度の創設を検討します。  森林経営管理制度取組方針を策定しました。今後委託発注し実施する予定です。 現況調査 181.05ha  就業奨励金の対象者として、農業者3名を申請済。	耕作放棄地を含む農地利用状況調査を実施して集計中。 新たな事業の創設に向けて、振興公社等関係機関との調整中。  森林現況調査を発注済。 181.05ha、285区画  農業者3名について支給決定。	農地利用状況調査の結果、約4haの耕作放棄地の解消を確認しました。 瀬戸内市耕作放棄地解消等事業を創設しました。  森林現況調査を実施しました。 181.05ha、287区画  農業者3名に支給しました。
6	有害鳥獣被害対策の推進  近年被害が増加している鳥獣被害の防止を図るための対策を強化します。	防護柵設置(個別柵及び集落柵の実施)及びその効果を高めるための緩衝帯整備 個別柵 130件 集落柵 3件 緩衝帯 3地区 集落ぐるみで行う被害防止対策を推進します。 セミナー 150名 小規模集落セミナー 30名  有害鳥獣駆除捕獲を推進します。 駆除捕獲頭数 650頭	■防護柵設置等 個別柵 145件 集落柵 4件 緩衝帯 1地区 ※交付決定の件数  ■普及啓発 小規模集落セミナー 5地区 現地指導等 52箇所  ■駆除捕獲 イノシシ 500頭 シカ 95頭 合計 595頭	■防護柵設置等 個別柵 184件 集落柵 4件 緩衝帯 1地区 ※交付決定の件数  ■普及啓発 小規模集落セミナー 9地区 現地指導等 63箇所  ■駆除捕獲 イノシシ 690頭 シカ 164頭 合計 854頭	■防護柵設置等 個別柵 180件 集落柵 4件 緩衝帯 1地区 ※交付確定の件数 (個別柵4件中止) ■普及啓発 コロナの影響で大規模なセミナーは自粛 小規模集落セミナー 10地区 現地指導等 68箇所 ■駆除捕獲 イノシシ 693頭 シカ 170頭 合計 863頭

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
7 地域産業の振興 対策の推進	<p>地域産業の担い手である市内小規模事業者、中小企業者の振興対策を推進し、併せて創業者の支援を推進します。</p>	<p>創業支援事業計画に基づき、瀬戸内市商工会、岡山県産業振興財団、金融機関との連携による創業支援件数 149 件及び創業件数 18 件 (各連携機関合計数値)</p> <p>利子補給制度等の適正な執行による中小企業の支援を行います。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響を受ける小規模企業者等に対して、緊急経済支援策等の情報提供を行い事業継続を支援します。</p> <p>小規模企業者及び中小企業者振興条例に基づき、新たな</p>	<p>11月から創業塾を開催する予定である。コロナ禍にもかかわらず、例年通り 11 人の受講申込がありました。</p> <p>中小企業活性化資金利子補給については、上半期 53 件実施。</p> <p>商工会に中小企業相談窓口を設置し、様々な相談を受けています。事業継続対策として 5 施策を実施中。持続化支援給付金については、557 件実施。事業継続融資利用支援金については、134 件実施。あと 3 施策については、申請受付中。</p> <p>新たに 4 施策を創設予定とし、中期財政計画に計</p>	<p>11月に全5回の創業塾を開催。13名の方の受講がありました。</p> <p>中小企業活性化資金利子補給対象者について、新たに4件を認定しました。</p> <p>商工会に設置した中小企業相談窓口で情報提供や申請支援を行いました。持続化支援給付金は735件実施。事業継続融資利用支援金は220件実施。事業支援機関サポート事業補助金は2機関に対して交付決定済。事業者連携支援補助金は6団体にに対して交付決定済。</p> <p>新たに創設を予定している施策について、要綱の</p>	<p>令和元年度受講者1名と令和2年度受講者5名に創業奨励金を交付しました。</p> <p>中小企業活性化資金利子補給認定件数は年間6件でした。</p> <p>持続化支援給付金は797件実施。3月末で終了。事業継続融資利用支援金は220件実施。1月末終了のため進捗なし。事業支援機関サポート事業補助金は2機関が事業完了。1機関は実施中で翌年度に繰り越し。事業者連携支援補助金は事業実施中で翌年度に繰り越し。</p> <p>新規企業誘致に関する施策及び既存企業の再投資</p>

			<p>振興対策の創設を検討します。</p> <p>今年度より実施する事業承継推進補助金の交付について、幅広く周知し、商工会と協力して支援を実施します。</p>	<p>上しています。</p> <p>HP等で幅広く周知しています。1件申請受付済。</p>	<p>整備を行っています。</p> <p>事業承継推進補助金について1件交付済</p>	<p>に関する施策については、要綱整備が完了し、令和3年4月1日より施行予定。</p> <p>同左</p>
--	--	--	---	---	---	---

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
8	農村地域産業導入促進法による企業誘致の促進	雇用の増大や税収の確保につなげるため、計画予定地である第2宮下工業団地への企業誘致を促進します。	農村地域産業導入促進法に基づく実施計画書の公表を行います。また、県、その他関係機関と連携し、企業の投資情報を収集し、企業誘致を推進します。	県と連携し、進出候補企業1社と接触しました。農産法の指定に向けては、日本立地センターと協議し、最終の計画変更書類を作成中です。	農産法指定に向けた計画変更の事前協議書を県へ提出し、公表に向けた最終調整を行っています。計画予定地の地権者に対し、事業の進捗状況を説明しました。詳細設計に向けた測量、地質調査を実施中。	第2宮下産業団地へ進出希望の企業から、立地意向表明書の提出はなかったが、4月早々には提出していただける予定となっている。農産法に関する実施計画書については、県協議が完了し、公表済。測量、地質調査業務については実施中で翌年度に繰り越し。

## 令和2年度 文化観光部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
文化観光部長 頓宮 忍	<p><b>●使命</b></p> <p>私たち文化観光部は、古くから継承されてきた歴史遺産や伝統文化を保護、保存、活用し、まちの個性を形づくる伝統文化や文化財を次世代に継承します。また、歴史、文化に触れる機会や多様な文化活動の機会を設けることにより、人と文化の交流による豊かな文化の創造を進めます。また、自然や景観、歴史遺産、伝統文化などの観光資源を活用し、情報発信事業を推進することにより、市の魅力を広く内外に発信し、交流人口の増加を図るとともに、地域の賑わいを創出します。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①文化財の調査等による保護、保存を推進し、併せて情報発信による文化財等の活用を進めます。</p> <p>②市民の文化活動を支援するとともに、博物館、美術館をはじめ、優れた芸術文化に触れる機会を提供します。</p> <p>③情報発信事業を継続することにより、観光客の誘致を促進し、市の知名度向上を図ります。</p> <p>④インバウンド対策に取り組み、訪日外国人旅行客の誘致を図ります。</p>	<b>所管課</b>	文化観光課		
		<b>人 員</b>	<b>正職員</b>	<b>会計年度 任用職員</b>	<b>合計</b>
		16 人	8 人	24 人	
		<b>一般会計</b>	609,471 (うち繰越明許 13,090) 千円		
		<b>特別会計</b>	千円		
		<b>計</b>	609,471 (うち繰越明許 13,090) 千円		
		<b>(うち人件費)</b>	(127,218 千円) (うち会計年度任用職員 24,359 千円) (そのうち地域おこし協力隊 3,601 千円)		



重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
1 文化財の調査等による保護、保存及び情報発信による文化財等の活用	<p>本市における文化財の保存活用に関する基本的な方針となる文化財保存活用地域計画策定(令和2年度～令和4年度)に向けた取組を進めます。</p> <p>また、民間と連携し、日本刀や須恵器など地域の特徴的な歴史文化資源を活用した地域活性化を図る取組を進めます。</p>	<p>計画策定のための協議会を設立し、本市が有する未指定を含めた文化財の洗い出しを行います。</p> <p>目標:文化財基礎リスト作成</p> <p>民間と連携し、地域の特徴的な歴史文化資源の情報発信や価値向上の取組を行います。</p> <p>目標:webサイト、SNSの閲覧件数 2,000件 ブランディングした商品数 1商品</p>	<p>計画策定支援業務受託者が入札により決定し、文献から市内の指定・未指定の文化財のリスト作成を進めています。また、協議会の設置要綱を定め、委員の人選を進めています。</p> <p>日本刀の活用に関しては、山鳥毛のパンフレットを大人用10000部、子供用5000部を作成し、山鳥毛特別陳列において配布するとともに、市内の小中学校に送付しました。</p> <p>須恵器に関しては、寒風陶芸会館において、現在webサイトの立ち上げやブランディング商品の開発に取り組んでいます。</p>	<p>第1回策定協議会を開催し、計画の方向等について協議を行いました。</p> <p>文献調査や文化財基礎リストの作成は継続して進めています。</p> <p>秋の山鳥毛特別陳列で配布したパンフレットにおいて、備前刀の歴史や価値を、市内外の多くの方に発信することができました。</p> <p>須恵器に関しては、webサイトを2月に立ち上げ、配信を始めます。また、古代須恵器の復元に取り組んでおり、今後プロモーション活動を行っていきます。</p>	<p>協議会を年2回開催し、計画策定に向けた協議を行うことにより、計画策定の基礎資料となる文献リスト、文化財リストを作成しました。</p> <p>また、市民ワークショップを2回開催し、計画策定の周知及び市民意見の聴取を行いました。</p> <p>民間と連携し次の事業を実施しました。</p> <p>① 日本刀では、パンフレット及び動画を作成して情報発信ができました。</p> <p>動画再生回数 1801回</p> <p>② 須恵器では、webサイトを立ち上げ、英語版パンフレットデータを作成し、情報発信を行いました。また「寒風須恵器」のロゴ作成及び商標登録を行い、商品価値の向上を図りました。</p> <p>web サイト閲覧数 1936回 ブランディングした商品数 1点</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>市民の文化活動の支援及び優れた芸術文化に触れる機会の提供</p> <p>民間団体等が実施する音楽を軸とした多種多様な分野でのコンサート等を支援し、プロ団体や学生、また市民参加など音楽文化芸術にふれあえる機会を創出します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>左記、音楽コンサート等を企画・計画している市民団体等に向け補助金を交付することにより、その活動を支援します。</p> <p>目標：市民が音楽文化芸術活動に参加した数 2,000人</p>	<p>和太鼓や合唱コンサート等を企画実施している団体に対し、補助金を交付し、各事業が実施されています。新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえ、多数の参加があり、また11月・12月の事業実施に向け、準備調整をしています。</p> <p>9月末参加人数 200人</p>	<p>民間団体の活動支援として、11月に実施された和太鼓を中心とした山鳥毛里帰りコンサートや12月に実施されたプロアマ共演によるベートーヴェン交響曲第9番のコンサートなどの事業に対し補助金を交付し、支援しました。</p> <p>委託事業として、市内全保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の児童・生徒にプロによる質の高い演奏等を提供し、文化芸術の素晴らしさを体感していただきました。また第4回夢二コンクールを開催し、全国から多数の音楽者が参加されたことにより、市の文化芸術の振興と併せて知名度の向上を図ることができました。</p> <p>1月末参加人数2,000人 児童生徒2,000人</p>	<p>1月末までに実施された各事業に加え、民間団体の活動支援として、3月に実施されたミュージカル(2回公演)及びブチバレエコンサートに対し支援を行いました。</p> <p>市民団体等が実施する質の高い文化活動に対し、補助金の交付やその他の側面的支援により、年間を通じて多くの事業が実施され、市民が優れた文化芸術に触れる機会の創出につなげることができました。</p> <p>年間総参加人数 計2,400人</p>

<p>備前長船刀剣博物館において、特別展やテーマ展を計画・実行し、刀剣文化の魅力を広げていきます。また、山鳥毛里づくりプロジェクトに基づいた取組を行います。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>特別展2回、テーマ展3回を開催します。また、国宝「山鳥毛」の特別陳列を行います。改修工事中は、研修棟や工房で日本刀に関わる職人をテーマにした取組を行います。</p> <p>目標入館者数:42,000人/年</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により4/20～5/20まで臨時休館しました。このため、特別展が中止となり、展示計画を見直しました。現在まで、テーマ展3回を開催し、秋季テーマ展に合わせて「山鳥毛」の特別陳列を行いました。なお、9/10より感染症防止対策のため、来館者予約システムによる入館者制限を実施しています。</p> <p>入館者数(9月末) 11,644人</p>	<p>現在までテーマ展4回を開催しました。秋季テーマ展(山鳥毛特別陳列)ではキャプション等展示手法を工夫し、来館者から高い評価を得ました。改修工事にあたり、10/5～22まで休館し、10/23から里の工房等を活用し、刀職をテーマにテーマ展を開催しています(館は工事のため休館)。</p> <p>入館者数(1月末) 15,675人</p>	<p>年間で、テーマ展4回を開催しました。館の改修工事期間中は、研修館と工房を展示室に利用し、刀職をテーマに工夫した展示会を開催しました。改修工事については、3月23日に完了しました。新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数は大きく減少しましたが、刀剣文化の振興や情報発信ができました。</p> <p>入館者数 17,430人</p>
<p>瀬戸内市立美術館の魅力向上や新たな来館者層を増やすため、魅力ある特別展や企画展を開催します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>特別展2回、企画展5回を開催します。企画展では児童生徒の作品展を開催するなど美術を身近に感じる取組も行います。</p> <p>目標入館者数 美術館：20,000人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により4/20～5/20まで臨時休館しました。このため、展示計画を見直しました。また、イベントは中止しています。現在まで、特別展1回、企画展3回を開催しました。</p> <p>入館者数(9月末) 3,602人</p>	<p>現在まで特別展2回、企画展4回を開催しました。特別展「野田弘志展」では、同時期に同じテーマで開催している岡山市のシティーミュージアムと連携し、来館者が両館を訪れるような工夫を行いました。</p> <p>入館者数(1月末) 9,750人</p>	<p>年間で、特別展2回、企画展5回を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数は大きく減少しましたが、地域の芸術文化の振興を図ることができました。</p> <p>入館者数 11,383人</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3 情報発信事業の継続による観光客の誘客と市の知名度の向上	観光資源の掘り起こしや磨き上げを行い、時節を捉えた効果的な情報発信に取り組むことで、新型コロナウイルス感染症収束後の国内観光客の誘客と市の知名度向上を図ります。	<p>「瀬戸内海」や「日本刀」などの既存観光資源の磨き上げや新たな観光資源の掘り起こしを実施します。また、メディア等を活用した観光情報の発信を強化するため、最も効果的なタイミングで観光プロモーション事業を実施することで、市の知名度を高め、国内からの誘客の促進を図ります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症収束後の目標入込客数 95,000人／月</p>	<p>新型コロナによる観光関連事業者への影響を鑑み、事業者支援の一環として「宿泊キャンペーン」や「プレミアム付電子旅行商品券事業」を行うなかで、適宜、関西圏や県内向けのメディア等を活用した情報発信を行っており、誘客回復に向けて取り組んでいます。</p> <p>入込客数 (R2.9実績) 65,138人／月</p>	<p>新型コロナの再流行によって積極的な誘客事業の推進が困難となったことから、将来のプロモーション活動に備えた動画の制作やホームページの充実等に取り組んでおり、アフターコロナを意識した準備を行っています。</p> <p>入込客数 (R2.12実績) 60,996人／月</p>	<p>新型コロナの流行下におけるプロモーションとして、オンラインでのプロモーション活動を充実させるための整備を実施し、観光ホームページの全面改装の完了公開と、市内観光資源を伝える動画について制作公開しました。</p> <p>新型コロナの影響により、直接的に誘客促進を図る事業は実施できませんでしたが、ウイズコロナ、アフターコロナを意識した事業を実施するための準備を整えることができました。</p> <p>(R2年度実績) 58,551人／月</p>

4	インバウンド対策による訪日外国人旅行客の誘客	新型コロナウイルス感染症収束後に向け、インバウンド向けの旅行商品の開発や磨き上げを行い、新たな旅行商品販売の準備に取り組むことで、訪日需要回復後の外国人旅行客の誘客を図ります。	吉井川流域DMOや近隣自治体と連携し、インバウンド向けの旅行商品の開発や磨き上げを行います。  新たに開発したインバウンド向け旅行商品数 2商品	日本旅行等と連携し、観光庁の誘客多角化事業に応募し、採択を受けたところであり、「日本刀の聖地・長船」を軸に、当市の強みを生かした将来のインバウンド誘客に向けたコンテンツ整備を計画しています。	新型コロナの再流行によって、当面の間インバウンド誘客の目途が立たないことから、オンラインによるプロモーションを意識し、状況に応じた対応に努めています。また、富裕層向けの旅行商品など将来インバウンド向けにも転用できる商品開発の検討を進めています。	観光庁の誘客多角化事業において、日本刀の聖地・長船の訴求力を高めるオンラインプロモーションを実施し、日本刀の制作と工程を追った多言語化した動画の公開、またオンラインツアーを実施し多くの視聴者を集めることができました。新型コロナの影響により、インバウンド向け旅行商品の商品化は実現できませんでしたが、インバウンドの再開に向けた情報提供等の取組を進めることができました。
---	------------------------	--	---	---	--	---

## 令和2年度 消防本部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
消防長 高原 正利	<p><b>●使命</b> 私たち消防本部は、社会情勢を的確に把握し、将来を見据えたきめ細かで、地域に密着した消防行政を展開していきます。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①消防力が最大限に発揮できるよう各種訓練・教育を実施させ組織の向上に取り組みます。                  ②新型コロナウイルス感染症に対応した訓練を実施します。                  ③消防団員の災害対応能力・士気を高めるよう努めます。                  ④消防施設の充実を図ります。                  ⑤防火基準の違反を是正していくよう努めます。                  ⑥自主防災組織の活動支援を推進します。                  ⑦事業所における自衛消防訓練の実施向上に努めます。                  ⑧指令情報の充実を図ります。</p>	所管課	総務課 警防課 予防課 通信指令室 消防署		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			77人	人	77人
		一般会計	658,060 千円		
		特別会計	千円		
		計	658,060 千円		
	(うち人件費)	( 524,104 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>安全で正確な対応力の強化 【警防課・消防署】</p> <p>職員の平均年齢が県内消防組織の中でもトップクラスの若返りとなり、火災・救急・救助・災害等の活動で安全、正確な対応力の強化に努めることにより、市民の安心と信頼のさらなる向上を図ります。</p>	<p>緊急自動車の事故防止を図るため運転適性検査を実施します。</p> <p>自動車安全運転センター1名 岡山県免許センター 11名 自動車教習所 39名</p> <p>各種免許・資格者を増員し災害に対応します。</p> <p>大型自動車免許 4名 小型船舶免許 2名 玉掛け・クレーン講習 2名</p>	<p>自動車安全運転センター、岡山県免許センター、自動車教習所については全員実施済みです。</p> <p>小型船舶免許は2名取得済みで、玉掛け・クレーン講習も2名受講済みです。大型自動車免許は現状3名取得済みです。</p>	<p>緊急走行が不可能な該当職員が、4名いますが、3月末に学科、実技試験の再試験実施予定です。</p> <p>各種免許取得に係る内容については、すべて取得済みです。</p>	<p>再試験の結果、合格となり、緊急走行を可能としました。</p> <p style="text-align: center;">同左</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1		<p>基本訓練の積み重ねにより、外部機関との総合的な訓練を実施し、正確な技術の習得や知識の向上を図ります。</p> <p>消防訓練 年5回以上 救助訓練 年5回以上 救急訓練 年4回以上</p>	<p>基本訓練を定期的 に実施し、外部機関 として岡山市消防局 と水難救助合同訓練 を実施しました。他 の予定していた外部 機関との訓練はコロ ナ感染症により中止 になっています。</p>	<p>新型コロナの状況 を鑑み、実施可能な 訓練は実施していま す。成果目標は達成 可能です。今年度、 残す訓練は林野火災 合同訓練のみとなっ ています。</p>	<p>今年度の訓練は、 すべて実施でき、成 果目標は達成できま した。外部機関との 総合的な訓練につい て、消防訓練8回、 救助訓練5回、救急 訓練5回実施しまし た。</p>	
2	<p>新型コロナウイルス感染症対応訓練 【警防課・消防署】</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感 染者発生拡大に対応した活動訓練 を実施します。</p>	<p>傾向対策の収集に努め、感 染防止に取り組みます。 感染防止対応訓練月1回以上</p>	<p>感染症の傾向対策 に取り組み、定期に 訓練を実施していま す。</p>	<p>救急隊の感染対策 について国から変更 が1月にあり、警防 課で基準に沿った内 容で救急業務を実施 していきます。</p>	<p>備前保健所職員に 来庁してもらい、救 急活動時の感染対 策、新型コロナ傷病 者搬送時についての 流れも確立しスム ーズに行えるようにな りました。</p>
3	<p>消防団員の活動能 力の向上【総務課】</p>	<p>近年、発生している災害が大規 模化・多様化している現状に対応 すべく団員の教育・訓練を重点的 に行い、災害に必要な知識と技術 を高め、より一層地域に密着した 活動ができるよう努めます。</p>	<p>全分団各種訓練を年3回 以上、また、夏季訓練では今年 度、整備を行うエンジンカ ッター・チェーンソーの使用 訓練を行い大規模災害に備 えます。</p>	<p>各分団で放水訓 練・ロープ結索訓練 等を実施、また7月 19日には全分団を 対象に今年度、整備 したエンジンカッター ・チェーンソーを 使用した夏季訓練を 行いました。</p>	<p>今年度はコロナ感 染症の影響で消防学 校での団教育は中止 となったが、夏季訓 練・文化財訓練等は 実施。3月には林野 火災訓練を実施予 定です。</p>	<p>今年度はコロナ感 染症の影響で消防学 校での団教育は中止 となりましたが、夏 季訓練・文化財訓 練・林野火災訓練を 実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>消防施設等の整備【総務課】</p> <p>牛窓分団第3部、第4部、鹿忍分団第1部の機能低下した消防車両の更新を図ります。</p> <p>呂久東分団機庫に隣接した用地を訓練場として使用するため、整備を行います。</p> <p>新長船分駐所建設予定地に災害に対応でき、平時には職員のみならず市民への訓練にも使用できる消防水利の充実を図ります。</p>	<p>令和2年12月末までに実施します。</p> <p>令和3年2月末までに整備します。</p> <p>令和3年1月末までに耐震性貯水槽100tを整備します。</p>	<p>5月末に入札を行い、現在1台は中間検査が終了、年内には3台全て納車予定です。</p> <p>設計も完了し、次は入札を行います。</p> <p>6月工事施工業者も決定し、現在耐震性貯水槽を作成中。完成しだい設置工事を行います。</p>	<p>12月中には3分団とも消防車両の引渡しりが完了しました。</p> <p>入札も12月に完了し、今後は設計どおり実施します。</p> <p>1月上旬に完成検査が完了しました。</p>	<p>同左</p> <p>3月に完成検査を行い、訓練場の整備が完了しました。</p> <p>耐震性貯水槽の整備が完了しました。</p>
5	<p>消防法令違反防火対象物への指導強化【予防課】</p> <p>消防用設備等点検結果報告書の不備に対する是正指導を行います。</p>	<p>提出されてきた不備のある事業者全てに改修指導を行います。</p>	<p>9月30日で218件の提出があり、異常58件に対し改修指導を実施済みです。</p>	<p>1月31日現在で351件の提出があり、異常97件に対し改修指導を実施。未改修の3件は立入検査で改修指導を行っていません。</p>	<p>3月29日現在で、点検報告件数401件、異常件数106件であり、異常のあったものについては全て是正指導を行いました。</p>
6	<p>自主防災組織（婦人防火クラブ）の災害対応力の向上【予防課】</p> <p>コミュニティ助成事業を活用し新規結成間もない婦人防火クラブの防災用資機材整備支援を行います。</p> <p>婦人防火クラブリーダーを中心に、災害対応力の向上を図ります。</p>	<p>軽可搬消防ポンプと応急救護資器材整備を10月末までに行います。</p> <p>消防学校で実施されるリーダー研修会に2クラブ以上の参加を目指します。</p>	<p>両資器材を購入し、9月26日に婦人防火クラブに贈呈し、取り扱い訓練を実施しました。</p> <p>研修入校依頼は2クラブに対し確約頂いたが、教育自体がコロナで中止になりました。他にできる訓練で対応します。</p>	<p>コミュニティ助成事業の実績報告を行いますべて完了しました。</p> <p>消防本部の指導で婦人防火クラブの訓練として、2地区のクラブに対し、ポンプ取扱、応急救護の訓練を実施済みです。</p>	<p>コミュニティ助成事業を活用し、軽可搬消防ポンプと応急救護資器材を整備しました。</p> <p>同左</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7	危険物施設の安全対策の推進【予防課】	危険物施設と消防訓練を実施し、安全意識の高揚及び初期対応の連携が図れるように訓練を実施します。	危険物施設での訓練を2回以上行います。	6月に危険物施設の合同訓練を計画していましたが、新型コロナのため延期されました。他で実施可能な事業所を検討しています。	10月新たに危険物施設での合同訓練実施の運びとなりましたが、急遽、事業所の都合により中止となりました。コロナ感染症の収束が見えない中、動向を見ながら実施に向け進める予定です。	今年度においては、2件の合同訓練計画を立てていましたが、いずれもコロナ感染症のため施設からの同意が得られず実施できませんでした。次年度は動向を見ながら、可能な方法を計画します。
8	正確で詳細な情報提供【通信指令室】	<p>住民基本台帳を基にした情報の更新及び新建築物等の調査を行います。</p> <p>予防課、警防課と連携して防火対象物、危険物施設の状況把握や水利、道路状況等の情報把握に努めます。</p> <p>消防団出動時の情報提供の充実やメール配信の確実性に努めます。</p>	<p>月に1回、住民基本台帳の世帯主異動を確認し常に最新に更新します。</p> <p>不明世帯や建物等、道路状況等の現地調査を月に1回以上行います。月に1回以上予防課、警防課と情報交換を行います。</p> <p>月初めに消防団員全員にメールのテスト送信を行います。</p>	<p>月に1回以上、世帯主の異動確認を行っています。</p> <p>情報交換をしっかりと行い道路の状況等確認しています。</p> <p>月に一回は確実にメールテストを行っています。</p>	<p>同左</p> <p>情報交換を常に行い道路の状況等確認しています。</p> <p>同左</p>	<p>世帯主の確認については、確実にできました。</p> <p>情報交換について常に行い、道路状況等の把握に努めました。</p> <p>テストメールの配信は月に一度必ず行いました。</p>

## 令和2年度 上下水道部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
上下水道部長 松本 孝之	<p><b>●使命</b> 私たち上下水道部は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフライン事業を担っています。上水道は、安全・安心な活力ある水道を基本理念に、災害に強い安全・安心で良質な水を安定的に供給します。下水道は、快適な生活環境の整備と日々の生活で汚した水を高度処理し水質保全を図り、豊かな水環境を守ります。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①安全で安心な水を供給するため、水質管理・検査体制の充実や浄水施設の高度処理化に取り組みます。</p> <p>②効率的で災害に強い水道システムを構築するため、応急給水体制等の強化や、施設や管路の適正規模での更新や耐震化、統廃合を進めます。</p> <p>③健全で持続可能な事業経営を推進するため、施設や管路の適切な維持管理や投資の合理化、労働生産性の向上に努めます。</p> <p>④効率的な運営管理を見据えた整備計画を進めます。</p> <p>⑤下水道事業の効率化、維持管理コスト縮減、供用開始区域内の接続推進を図り経営の健全化を進めます。</p>	所管課	上水道業務課・上水道施設課・下水道課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			35人	6人	41人
		水道事業会計	3,167,738 千円		
		下水道事業会計	3,112,821 千円		
	計	6,280,559 千円			
	(うち人件費)	(259,898 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>基幹管路の耐震化及び災害時応急給水体制の強化</p> <p>計画的に基幹管路の耐震化を進めます。</p> <p>災害時の応急給水のため、応急給水設備を設置します。</p>	<p>水道配水用ポリエチレン管口径150mm、延長240mの布設工事を3月末までに行います。</p> <p>瀬戸内市消防本部及び邑久調整池管理道の2箇所に応急給水設備を3月末までに設置します。</p>	<p>10月工事発注に向け準備中です。</p> <p>応急給水設備は2箇所とも、工事中です。</p>	<p>工事発注済みで現在工事中です。</p> <p>11月末に2箇所の設置工事を完了しています。</p>	<p>水道配水用ポリエチレン管口径150mm、延長218mの布設替工事が完了しました。</p> <p>同左</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	浄水場の機能強化及び水質管理・検査の強化	<p>福山浄水場の高度処理化や耐震化、適正規模での更新整備事業を継続します。</p> <p>浄水場における水質管理を徹底し水質検査計画に沿った検査を実施します。</p>	<p>天日乾燥床の築造工事、既設汚泥処理施設の撤去工事及び場内整備工事を実施し、8月末までにすべての事業を完了します。</p> <p>水安全計画を策定し、水質の安全管理を行います。また、法定の水質検査並びに臨時検査を実施します。</p>	<p>事業は8月末に完了し、9月1日から全施設の供用を開始しています。</p> <p>水安全計画は、10月末までに策定の予定です。法定の水質検査は計画に沿って実施しています。</p>	<p>同左</p> <p>水安全計画の策定は完了し、計画に基づいた安全管理を実施しています。また、法定の水質検査について、引き続き実施します。</p>	<p>同左</p> <p>法定の水質検査は全て完了し、水質基準に適合していました。</p>
3	適切な維持管理による有収率の向上	有収率の向上を目指し、老朽管更新工事の実施と漏水の多い地域の調査を行います。	<p>市内4箇所にて老朽化した塩化ビニル管を水道配水用ポリエチレン管、口径50mm～75mm、総延長約1,810mの布設替を3月末までに行います。</p> <p>市内の漏水の多い地域を選別して漏水調査を行います。</p>	<p>2箇所は業者が決定し工事中です。残りの2箇所については10月工事発注に向けて準備中です。</p> <p>第1期として市内15.9km（11地区）で調査を完了しています。第2期についても契約を完了し調査準備中です。</p>	<p>1箇所については、延長約240mの布設替工事を完了していません。3箇所は現在工事中です。</p> <p>第2期として市内13.4km（16地区）で調査を完了しています。第3期も契約を完了し調査準備中です。</p>	<p>市内4箇所の水道配水用ポリエチレン管口径50～75mm、総延長約1,920mの布設替工事が完了しました。</p> <p>合計43地区の漏水調査を実施しました。総延長44km、給水戸数2,204戸を調査し、漏水28件を発見し全て修繕を完了しました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	下水道への接続推進	下水道事業の経営健全化のため、下水道への接続推進を図ります。供用開始予定地区へのパンフレット配布、広報紙やホームページへの記事掲載、接続に関するアンケート調査やダイレクトメール等により未接続世帯に対し、積極的に働きかけを行い、接続件数の向上を目指します。	供用開始地区への下水道接続率 79.5%を目指します。	供用開始から3年経過しても接続していない世帯の抽出作業が完了しました。今後、ダイレクトメールを送付し、接続推進を行います。	広報紙「広報せとうち」の9月号及び2月号に下水道への早期接続のお願いを掲載しました。また、ダイレクトメールについては、現在発送準備を進めています。	接続率は79.6%になりました。3月末に排水設備接続推進のダイレクトメールを対象の世帯へ送付しました。
5	施設の適正な管理・運営	ストックマネジメント計画及び最適整備構想に基づく詳細設計業務等が完成しました。今後、補助事業を活用しながら計画的に処理場及び管路の改修工事を実施していきます。また、長期的な視野に立って維持管理コストの縮減を目指します。	福元グリーンタウン及び福岡住宅地内の経年変化により劣化した全てのマンホール蓋について、12月末までに蓋の更新工事を完成させます (N=263基)。農業集落排水事業について、今後の改修工事のための事業認可手続きを進めます。また、施設の統廃合について、検討業務を3月末までに完成させます。	人孔蓋更新工事については、8月中旬に契約を締結しました。10月中旬頃から蓋の取替作業を実施していきます。農業集落排水事業の認可手続きは、県ヒアリングまで終了し、今後中国四国農政局に計画書を提出します。施設の統廃合検討は、現在業者選定中であり、業者が決まり次第、検討を進めます。	人孔蓋更新工事については、現場の諸条件により、2月中旬に完成します。農業集落排水事業の認可手続きについては、中国四国農政局に提出しました。施設の統廃合検討業務については、業者委託を行い、検討を進めています。	福元グリーンタウン及び福岡住宅地内のマンホール蓋の更新が完了しました。同左  施設の統廃合検討業務も完了し、検討結果がまとまりました。

## 令和2年度 病院事業部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
病院事業部長 小山 洋一	<p>●使命 私たち病院事業部は、「市民に安らぎと幸せを届ける病院を目指します。」を理念に掲げ、市民に必要とされる病院の運営と健全な経営に努めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①地域で必要とされる医療を安全・安心に提供します。                      ②人を大切にし、患者の尊厳と権利を尊重します。                      ③医療・介護・保健・福祉施設等と連携し、市民とともに地域包括医療・ケアを進めます。                      ④常に自己研鑽に励み、医療の質向上に努めます。                      ⑤市民に必要とされる医療人を育成します。                      ⑥健全な経営基盤を確立します。                      ⑦楽しく働き甲斐のある職場をつくります。</p>	所管課	市民病院・裳掛診療所		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			142人	22人	164人
		事業会計	2,050,625 千円		
		特別会計	28,033 千円		
		計	2,078,658 千円		
		(うち人件費)	( 1,195,146 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	良質な医療サービスの提供と健診部門の充実	市民の医療需要に的確に応え、信頼される病院となるべく、患者さまの立場にたった医療、良質かつ適切で安全な医療サービスを提供します。 特定健診、人間ドック等を充実し、早期治療対応の環境づくりに努めます。	1日当たり外来患者数 230人 (前年度 210人) 1日当たり入院患者数 103人 (前年度 91人) 入院患者満足度 93%以上 (前年度 83.9%) 外来患者満足度 72%以上 (前年度 65.4%) 手術件数 350件 (前年度 267件) 健診者数 3,500人 (前年度 3,388人) 救急車受入件数 600件 (前年度 553件)	外来患者数 187.9人 (前年同期 214人) 入院患者数 92.5人 (前年同期 91人) 入院患者満足度90.2% (前年同期83.9%) 外来患者満足度66.7% (前年同期65.4%) 手術件数 141件 (前年同期 144件) 健診者数 1,969人 (前年同期1,962人) 救急車受入件数264件 (前年同期293件)	外来患者数 184.7人 (前年同期 213人) 入院患者数 92.4人 (前年同期 89人) 同左 同左 手術件数 222件 (前年同期 219件) 健診者数 3,219人 (前年同期3,160人) 救急車受入件数439件 (前年同期469件)	外来患者数 185.8人 入院患者数 92.4人 同左 同左 手術件数 268件 健診者数 3,393人 救急車受入件数 521件

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
2	地域包括医療・ケアの推進と病床管理の徹底	<p>地域の医療機関等との機能連携及び機能分担を進めるため、患者紹介・逆紹介の推進、情報交換等を積極的に進めます。</p> <p>また、入退院管理と効率的な病床管理の徹底、地域医療連携、退院支援、在宅医療等医療・福祉の相談支援を積極的に進めます。</p> <p>地域包括医療・ケア推進のため、病診連携、病病連携、福祉・介護関連の諸機関との連携をさらに強化します。</p>	<p>病床稼働率 90.9% (前年度 82.4%)</p> <p>患者紹介率 44% (前年度 38.5%)</p> <p>逆患者紹介率 35% (前年度 22.5%)</p> <p>患者相談支援件数 5,000件 (前年度 5,980件)</p>	<p>病床稼働率 84.0% (前年度 82.8%)</p> <p>患者紹介率 33.8% (前年度 35.7%)</p> <p>逆患者紹介率26.2% (前年度 22.7%)</p> <p>患者相談支援件数 2,541件 (前年度 2,802件)</p>	<p>病床稼働率 83.9% (前年度 77.7%)</p> <p>患者紹介率 34.7% (前年度 38.8%)</p> <p>逆患者紹介率27.4% (前年度 22.1%)</p> <p>患者相談支援件数 4,056件 (前年度 4,886件)</p>	<p>病床稼働率 84.0%</p> <p>患者紹介率 34.1%</p> <p>逆患者紹介率27.2%</p> <p>患者相談支援件数 6,528件 (前年度 5,980件)</p>
3	経営の健全性・安定性の向上	<p>良質な医療サービスを地域住民に提供し続けるためには、適材適所の人材確保に努め、健全で安定した経営を行うことが必要不可欠です。</p> <p>そのため、新病院改革プランの目標達成に向けて経営企画室主導による経営改善を推進するとともに、市民が求める公立病院に期待する役割を実践し、健全な経営状態の確保に努めます。</p>	<p>入院患者1人1日当たり収入 32,640円 (前年度 31,847円)</p> <p>新入院患者数1日平均5.0人 (前年度3.82人)</p> <p>経常収支比率 100.5% (前年度92.74%)</p>	<p>入院患者1人1日当たり収入 32,680円 (前年 31,820円)</p> <p>新入院患者数1日平均 3.5人 (前年度3.82人)</p> <p>経常収支比率 93.45% (前年度95.65%)</p>	<p>入院患者1人1日当たり収入 32,620円 (前年 31,820円)</p> <p>新入院患者数1日平均 3.5人 (前年度3.9人)</p> <p>経常収支比率 97.82% (前年度93.97%)</p>	<p>入院患者1人1日当たり収入 32,720円</p> <p>新入院患者数1日平均 3.48人</p> <p>経常収支比率 99.76%</p>
4	病児・病後児保育事業の実施	<p>子育て支援の住民要望に対する保育対策として育児と就労の両立を支援します。</p> <p>瀬戸内市から委託を受けて総合福祉センター内の保育室で実施します。</p>	<p>保育室が完成する令和2年12月に運営開始予定。</p> <p>延べ利用児童数50人以上</p>	<p>開設準備中</p>	<p>12月7日運営開始</p> <p>延べ利用児童数 3人</p>	<p>延べ利用児童数 8人</p>

## 令和2年度 出納室 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
会計管理者 片山 洋一  	<b>●使命</b> 出納室は、公金の収納・振込・資金運用を適正・的確に行い、市民から信用される事務処理を遂行します。  <b>●基本方針</b> ①正確迅速な会計事務を行います。 ②安全かつ有効な資金運用を図ります。	所管課	出納室		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			4人	人	4人
		一般会計	35,671 千円		
		特別会計	千円		
		計	35,671 千円		
(うち人件費)	( 32,559 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	正確な会計事務を行いつつ、業務改善を図ります。	正確で適正な事務処理を行うため、会計事務担当者への指導強化に努めるとともに、効率的な事務処理方法の研究を行います。	会計事務の説明会を、職員研修として実施します。前年度に引き続き「会計事務の手引き」並びに「Q&A」の内容の充実を図ります。	9月に新規採用職員研修会の一コマとして実施しました。「会計事務の手引き」「Q&A」の内容を改定中です。	支払事務の留意事項を掲示板に掲載し、職員に周知徹底しました。「会計事務の手引き」「Q&A」の内容を改定中です。	同左  「会計事務の手引き」「Q&A」の内容を改定しました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	安全で有効な資金運用を行います。	債券等に関する知識を深めるとともに、市場調査や情報収集に努め、安全かつ有効な資金運用に努めます。	市場状況に基づいた安全で有効な資金運用を行います。	9月末現在で17,970,718円の運用益を得ました。	1月末現在で28,773,767円の運用益を得ました。	3月末現在で34,415,392円の運用益を得ました。
3	公会計制度の知識の習得に取り組みます。	公会計制度を審査等に活用できるよう知識の習得に努めます。	研修等の機会を利用し、公会計制度の基礎知識を習得します。	新型コロナウイルスの影響で、研修会には参加できていません。	新型コロナウイルスの影響で、研修会への参加は見合わせました。前年度の研修資料等をもとに、公会計制度の基礎知識の習得に努めています。	同左  同左

## 令和2年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
教育次長 藪井 慎吾	<p><b>●使命</b>                      私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、平成27年11月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、令和2年度瀬戸内市の教育に基づいた諸施策を実施します。</p> <p><b>●基本方針</b>                      瀬戸内市教育大綱                      重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」                      重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」                      重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」                      重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」</p> <p>以上、4つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待に応えるよう教育行政を推進していきます。</p> <p>(重点5「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」の事業は、令和2年度から市長部局の文化観光部へ)</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 図書館・学校給食調理場		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
		64人	162人	226人	
		一般会計	3,186,045 千円		
		特別会計	千円		
		計	3,186,045 千円 (文化観光部予算含む)		
		(うち人件費)	(830,063 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 魅力ある学校施設の整備と学習環境の改善を図ります。	<p>学校施設整備 老朽化が進み、大規模改造や老朽改修が必要となっている学校が多くなっているため、緊急性に応じて計画的に実施します。さらに、学校施設長寿命化計画に基づき、バリアフリー化や省エネルギー化等も含めた施設整備を推進します。</p> <p>ICT整備 教職員用の教育ネットワークのセキュリティ強化を図るとともに、平成26年度に整備した情報機器を更新し、教員の業務の効率化、授業の質の向上を図ります。</p>	<p>行幸小学校校舎大規模改造第Ⅰ期工事を年度内に完了させ、並行して第Ⅱ期工事に向けて準備を進めます。</p> <p>牛窓東幼稚園園舎大規模改造を夏休み中に完成させます。</p> <p>邑久小学校の南棟防水改修工事、牛窓中学校の校舎外壁改修工事、国府小学校のプール解体撤去工事など、学校施設の整備を年度内に計画的に実施します。</p> <p>前年度末に契約を締結しているが、6月中に納入を完了し、教職員の働き方改革に繋げることができるように説明会・研修会を行うなど十分な利活用に努めます。</p>	<p>行幸小学校校舎大規模改造Ⅰ期工事は、約75%の進捗率で概ね計画どおりに進んでいます。</p> <p>牛窓東幼稚園園舎大規模改造工事は、7月中旬に工事を終え、仮設園舎の撤去を8月中に終えました。きれいになった改修後の園舎にて、2学期をスタートさせていきます。</p> <p>令和2年8月より、新ネットワークの運用を開始しました。児童・生徒の成績等を扱う校務系、授業で使用する指導系にネットワーク分離を行い、セキュリティの強化を実施しました。また、教職員にリモートワークシステムを導入し、家庭の状況に合わせた働き方ができるように整備しました。</p>	<p>行幸小学校校舎大規模改造Ⅰ期工事は、12月までに工事を終え、改修後の教室で3学期をスタートしました。現在はⅡ期工事の発注準備を行っています</p> <p>また邑久小学校の南棟防水改修、牛窓中学校の校舎外壁改修、国府小学校のプール解体工事も12月までに工事を終えました。</p> <p>新ネットワークシステムの運用にともない、使用方法の研修や校内での伝達研修を実施しました。質問等があれば、総務学務課で対応していますが、これまで大きなトラブルはなく、順調に運用しています。また、リモートワークについては、1月末までのべ166人9,887時間の運用実績になっています。</p>	<p>行幸小学校大規模改造工事は、Ⅰ期工事を終え、令和3年度のⅡ期工事の開始に向けて準備を進めています。</p> <p>その他学校施設の整備についても年度内に工事を終えました。</p> <p>令和2年9月から運用を開始しましたが、年度末までに情報漏洩や運用に関するトラブルの報告はなく、順調に運用しています。</p> <p>また、リモートワークについては、月あたり平均超過勤務時間の削減にも寄与し、利活用の利便性から、市内学校から接続アカウントの増設を希望する声が多くなっています。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
<p>児童生徒に安全で安心な給食を提供し、食育を推進します。</p>	<p>G I G Aスクール構想 児童生徒1人に1台の端末を配備するとともに、端末等の機器を十分活用できるように高速大容量の通信ネットワークの整備を進めます。（新型コロナウイルス感染症の感染防止対策による休校措置の際のオンライン学習などを進めるため、スケジュールの前倒しの必要が生じた。令和5年度末まで⇒今年度中）</p> <p>安全安心な給食の提供 衛生管理、安全管理を徹底し、異物混入を防止します。</p> <p>食育の推進 給食時指導等により食育を推進します。</p>	<p>年度内に校内通信ネットワーク整備に係る工事を完了させ、並行して国が示す補助金の情報、内容を注視しながら年度内に児童生徒1人1台の端末を購入し、併せてオンライン学習等に対応できる環境整備を行います。</p> <p>調理機器の日常清掃・日常点検及び服装点検等を確実に実施することにより、異物混入件数を昨年度より10%削減します。</p> <p>給食時指導や給食だより等により、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけてもらい、食にかかわる人々への感謝の気持ちを育むよう指導します。</p>	<p>令和3年3月末の整備完了に向け、ネットワーク整備工事の入札準備中。1人1台端末に関しては契約を締結し、納品に向けて準備をしています。</p> <p>調理機器の日常清掃・日常点検及び服装点検等を確実に実施していますが、R1.9末時点で9件であったものがR2.9末で17件となっています。原因については納入業者（肉の骨片、パン袋内の虫等）が大半を占めています。今後は、衛生管理等を徹底していきます。</p> <p>牛窓学校給食調理場において、栄養教諭の代員配置の関係で給食時指導が遅れていましたが、他については問題なく食育を進めています。</p>	<p>令和3年3月末の整備完了に向け、校内ネットワーク整備工事を開始しました。また、1人1台端末からのインターネット接続のための光回線の敷設工事や端末のキッティングについても協議を進めています。</p> <p>異物混入について、R2.1末時点では14件でしたが、R3.1末時点で39件となっています。混入経路の内訳は調理場12件、納入業者21件、学校1件、不明5件です。異物の大半は、毛、虫、骨であり、健康への影響は出ていませんが、今後、一層衛生管理等を徹底していきます。</p> <p>牛窓・邑久学校給食調理場の栄養教諭については、代員を配置し、今までどおり給食時指導や食育等を進めています。</p>	<p>年度内に校内通信ネットワーク整備工事及びインターネット接続のための光回線敷設工事を終え、児童生徒1人1台の端末を各学校に配備しました。</p> <p>異物混入について、令和元年度は3調理場合計で19件、令和2年度は3調理場合計で45件でした。令和2年度の混入経路の内訳は調理場15件、納入業者23件、学校1件、不明6件です。異物の大半は、毛、虫、骨です。金属混入はありませんでした。</p> <p>3調理場合計で、給食時指導等を約200回実施し、食に関する正しい知識、生産者等への感謝の気持ちを子どもたちに学習させました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	<p>関係部局・関係機関と連携しながら就学前から義務教育まで、個々の子どもの状況を把握して、必要とされる資質や能力を育みます。</p> <p>園児児童生徒の自立支援 個々の子どもの課題や状況を把握し、指導・支援を継続して行います。</p> <p>学力向上のための事業の充実 学校力向上事業や教職員研修の充実によって、子どもたちに必要な力を育みます。</p> <p>地域学校協働活動の推進 各小・中学校に設置している協働本部で取り組んでいる地域学校協働活動を継続して推進するとともに、実施体制の強化を図ります。</p> <p>家庭教育の推進 子育てや成長など、子どもに関わる様々な悩みや課題を和らげるための事業を関係部署と連携して実施します。</p>	<p>・長期欠席・不登校の児童生徒の出現数を前年度より10%減らします。 ・幼小連携を推進する研修、授業公開を5回以上実施します。</p> <p>自己肯定感をもち、高い学習意欲をもった児童生徒を8割以上にします。</p> <p>活動のキーパーソンとなる地域学校協働活動推進員及び学校教職員のスキルアップを図るため、研修会を開催します。</p> <p>保育園・幼稚園や市内ファミリーテーターなどと連携して、親育ち応援学習プログラム（親プロ）学習会や養成講座を実施します。</p>	<p>・不登校の出現数は9月末現在の前年度比で小学校で微増、中学校で微減です。 ・特別支援教育や幼小連携についての研修を2回実施しました。</p> <p>・自己肯定感と学習意欲を高めるために安全を確保した上で、主体的、対話的な学習を実践しています。</p> <p>各学校での活動もコロナの影響で制限がかかっている状況ですが、その中でもできる活動や研修のやり方を模索中です。</p> <p>8月に、親プロファミリーテーター養成講座を実施し、8名が参加しました。 また、9月に福祉部と連携し親プロ学習会を幼稚園で実施しました。</p>	<p>・不登校の出現数は1月末現在の前年度比で小学校は増加、中学校は減少です。 ・特別支援教育や幼小連携についての研修を5回実施しました。</p> <p>・小学5年生から中学3年生の約8割が自己肯定感をもち、小学5年生の約7割中学3年生の約6割が計画的に学習しています。</p> <p>研修会の実施は見合わせることにしましたが、研修に代わる資料（好事例の紹介等）を関係者に配布する準備を進めています。</p> <p>幼稚園5園全て親プロ学習会を実施することができました。 現在、子育て支援センターでの父親向けの親プロ実施に向けて準備を進めています。</p>	<p>・不登校の出現数は小学校で10%超の増加、中学校で10%の減少です。 ・特別支援教育や幼小連携についての研修を6回実施し、継続的な指導について共有しました。 ・抽出校において、自己肯定感について約7割、計画的な学習について約7～8割の児童生徒が肯定的な回答をしています。</p> <p>県教育委員会生涯学習課発行の学校づくり・地域づくりの週刊誌及び、美和小学校の取組事例を情報として提供しました。</p> <p>子育て支援センター親プロ学習の年間計画が5月頃から開催予定。幼稚園内の親プロ学習会を年6回実施。養成講座を1回実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>生涯学習機会の更なる充実を図るため、市民の学習ニーズを把握しながら、社会教育施設がそれぞれ機能を高めるとともに連携を図り、事業を推進します。</p> <p>市民が主体となる文化芸術を通じて、瀬戸内市の良さを発信し、市民のシビックプライドを醸成することを目的とし、中央公民館を拠点とした学習の成果発表や、市民による企画事業などによって、瀬戸内市における文化芸術の発展、横展開につなげていきます。</p> <p>中央公民館、牛窓町公民館、長船町公民館の地域の特色を活かした持続可能な学習の拠点としての役割を考え、身近な地域資源を内外に情報発信し、多様な学習機会の提供を行います。</p>	<p>公民館と委員会が中心となり、市民が企画した事業などを実施します。</p> <p>また、市民参加型のロビーパフォーマンスを年5回以上開催します。</p> <p>事業の参加人数1,200人を目指します。</p> <p>菊づくり講座や海岸生物の現状調査の主催講座など公民館主催事業を実施します。</p> <p>参加人数25,000人を目指します。</p> <p>また、文化芸術を通して、公民館利用が少ない青年層(18歳～39歳)や外国人との交流講座を年2回実施し、参加人数30人を目指します。</p>	<p>文化の種まき応援事業では9団体から申請があり9事業が採択され、砥石城山登りウォークや夢二2020事業などを順次実施しています。ロビーパフォーマンスは会場をホールに移して参加者名簿の作成が徹底できる状況で11月から開催予定です。</p> <p>公民館におけるコロナ対策指針に準じて、菊づくり講座など順次開催しています。</p> <p>8月18日には牛窓の筵江海岸で海岸生物の観察会を実施しました(参加者34人)。</p> <p>また、文化があふれるまちづくり事業の前結び帯結ファッションショーに公民館から外国人留学生を紹介しモデルとして出演予定です。</p>	<p>市民企画コンサートで倉敷管弦楽団弦楽合奏コンサートを開催するなど感染症対策を徹底した上で、文化芸術の振興を図りました。(来場者173人)</p> <p>文化の種まき応援事業では、体験型の歴史学習事業など7事業を展開しています。</p> <p>前結び帯結ファッションショーでは主催者と外国人留学生を仲介し4名の外国人着物モデルが出演しました。また、ドローンの主催講座では、15人の青年層が参加し、躍動感ある体験講座となりました。(参加者46人)</p> <p>日本画体験講座や地域再発見ウォークなど、コロナ禍でも開催できる体験型講座を実施しました。</p>	<p>文化があふれるまちづくり事業ではコロナ対策に配慮した事業(ホールパフォーマンス4事業、委員会企画コンサート1公演、芸術展1事業、文化の種まき応援事業7事業)を実施しました。事業総参加人数は2,619人となりました。</p> <p>コロナ禍の中で講座数とその定員が大幅に減少となりました。菊づくり講座や日本画講座などの体験型の講座を実施することができました。参加人数は13,133人となり、前年度の27,670人と比較し47.5%となりました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>図書館との連携事業では、公民館や図書館に来館された市民が気軽に参加することができる事業を実施します。</p> <p>郷土資料などの地域の文化資源を図書館及び中央公民館で展示します。</p> <p>美術館との連携事業では、研修室で日本画教室を実施するとともに企画展の対話型鑑賞会も実施します。</p> <p>地域の身近な課題を解決するための事業や地域の振興につながる事業を関係部署と連携して実施します。</p>	<p>図書館との連携を目的に、オリーブの庭を活用したイベントやせとうちまー号を利用した事業を年1回以上実施します。</p> <p>来館者が身近な郷土に関心をもつことを目的とし、虫明焼などの地元ゆかりのある文化資源などの展示を実施します。</p> <p>岩絵の具で描く貴重な体験を目的とし、美術館と連携した日本画教室の参加人数30人を目指します。</p> <p>高齢者支援を目的とし、関係部署と連携して認知症サポーター養成講座の参加人数30人を目指します。</p>	<p>未就園児親子を対象とする長船町公民館主催事業うさぎの学校11月開催回に「せとうちまー号」とのコラボ企画を計画中です。</p> <p>5月16日から7月19日まで公民館所管の黒井千左氏、博史氏、故一楽氏の虫明焼を展示し、延べ2375人が観覧しました。</p> <p>8月28日に日本画講座を実施しました(参加者12人)。また、日本画体験後、美術館長の解説で企画展を見学し、理解を深めることができました。</p> <p>コロナウイルスの状況を注視し、社会福祉協議会と連携して認知症サポーター養成講座の開催を下半期に計画中です。</p>	<p>11月24日に開催したうさぎの学校では「せとうちまー号」が登場し、親子でふれあいながら絵本を選ぶ機会となりました。</p> <p>中央公民館ロビーで市民の作品や所有物を展示する瀬戸内コレクションでは、手製真空管アンプや明治大正時代の教科書など来館者の注目を集める逸品が寄せられ、延べ4,906人が観覧しました。</p> <p>牛窓東幼稚園で開催した日本画体験講座(参加者21人)では、水彩絵の具とは違う岩絵の具で絵を描く貴重な機会になりました。</p> <p>推進会議役員との協議をした結果、今年度の事業は中止となりました。今後も地域課題解決に向けて協議を継続することになりました。</p>	<p>コロナ禍の中、図書館との連携事業は年間1回の開催となりました。</p> <p>2月は「桃井国志～画文に至るあゆみ～」、3月は「馬場伝次郎の江川式建築展」を瀬戸内コレクションの募集により展示しました。延べ1,133の方が観覧しました。</p> <p>3月13日に夢二郷土美術館と連携し、夢二生家記念館の椿を描く日本画体験講座を開講できました。参加された10人の作品は少年山荘や春の院展会場で展示します。</p> <p>認知症サポーター養成講座の中止に伴い、防災マップや防災グッズなど、牛窓地区をクローズアップした展示を実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>地域の情報拠点整備 まちづくりに役立つ地域の情報拠点として十分に機能するため、「瀬戸内市立図書館サービス計画」に沿って、多くの市民が利用できる図書館サービスの充実を図ります。</p> <p>子どもの読書活動推進 子どもの発達段階に合わせた読書を支援するため、「第2次瀬戸内市子ども読書活動推進計画」に沿って、子どもの読書活動推進を図り、図書館の子育て支援サービスにもつなげます。</p> <p>個性に合わせたサービスの提供 高齢者や障害者が利用しやすい読書環境を提供するため、認知症対策を含めた高齢者サービスと障害者サービスの推進を図ります。</p> <p>地域郷土学習の支援 市民が郷土に関心や愛着を持ち、瀬戸内市に関わる人々が瀬戸内市をより深く理解できるようにするため、地域郷土学習事業の推進を図ります。</p>	<p>全館の登録率 53%、実利用率を 18.5%、貸出冊数を約 334,000 冊（住民1人当たり貸出冊数を9冊）とします。</p> <p>子どもの発達段階に合わせた読書案内を4種類作成します。中高生向けコーナーにコミュニケーションボードを設置します。</p> <p>障害者サービスの利用案内を作成し、広報を年4回行います。また、認知症にやさしい本棚のおすすめ資料リストを作成します。</p> <p>郷土学習支援のためのパスファインダー(情報や探索方法の紹介)を3種類作成します。</p>	<p>全館の登録率は 52.1%、貸出冊数は 146,467 冊(住民1人当たり貸出冊数 4.0 冊)となっています。</p> <p>小学校低学年・中学年・高学年、中学生向けの本を選書中。11月中に作成し、12月に編集予定。コミュニケーションボードを準備中です。</p> <p>「図書館だより」及び屋台展示で、広報を3回実施。障害者サービスの利用案内は年度内完成予定。「認知症にやさしい本棚」のおすすめ資料リストは1月完成予定で編集中です。</p> <p>3種のテーマを選定し、1種目の案を作成中です。</p>	<p>全館の登録率は 52.7%、貸出冊数は 257,349冊（住民1人当たり貸出冊数7.0 冊）となっています。</p> <p>1月に小学校低学年・中学年・高学年、中学生向けの読書案内を作成しました。コミュニケーションボードは、11月に設置しました。</p> <p>認知症にやさしい本棚おすすめ資料リストは2月末完成を目標に編集中です。障害者サービス利用案内も同時期に完成予定のため、図書館だよりで4回目の広報を行う予定です。</p> <p>パスファインダーの1種目を作成中。3月末までに3種のパスファインダーを完成させる予定です。</p>	<p>全館の登録率は 53.3%、実利用率は 16.4%、貸出冊数は 315,455 冊(住民1人当たり貸出冊数 8.5 冊)となっています。</p> <p>読書案内4種類（小学校低学年・中学年・高学年、中学生向け）を作成しました。コミュニケーションボードを設置しました。</p> <p>認知症にやさしい本棚おすすめ資料リストと障害者サービス利用案内を作成しました。図書館だよりで障害者サービスの広報を4回行いました。</p> <p>2種類のパスファインダーを作成しました。残り1つを令和3年4月中に完成させる予定です。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>市民の健康づくりや体力づくりのため、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、活動の場所と機会の提供を行います。</p> <p>邑久スポーツ公園の改修 冒険の森をこども広場とし、自然を生かし、遊具の設置を最小限にとどめることにより、自然の中で子どもが自由に遊べる場所として整備を進めます。 また、野球場のトイレや駐車場の整備を進めます。</p> <p>牛窓体育館の今後の方針 令和元年度に実施した耐震診断の結果を基に、施設の今後の方針を検討します。</p>	<p>令和元年度に策定した改修基本設計を基に、課題となっていたトイレの整備を始め、手足洗い場、遊具、東屋、駐車場等の改修実施設計を3月末までに作成します。</p> <p>10月末を目途に、関係者からの意見を集約し、耐震補強・改修または解体の方針を決定します。</p>	<p>7月末に受注者を決定しました。他部局と連携を図りながら実施設計を進めており、今後は、市民の参画によるにぎわいのある公園となるためのワークショップを開催します。</p> <p>過去に体育館を利用していた団体及び現在牛窓地域で学校施設を利用している団体の意見を聞くため、アンケート調査を実施し、6月に結果を取りまとめました。</p>	<p>11月のワークショップ、12月の子育て世代による座談会において実施設計の素案を提示し、具体的な整備内容についての意見交換を行いました。</p> <p>12月に瀬戸内市スポーツ推進審議会を開催し、施設の方針について諮問しました。</p>	<p>意見交換会や現地視察等でいただいた多くの意見を盛り込んだ実施設計が完了しました。</p> <p>耐震診断結果、学校、利用者アンケート、スポーツ推進審議会等でいただいた意見を基に施設を廃止し、学校用地として有効活用する方策を講じます。今後は、個々の課題についてさらに検討を行います。</p>

## 令和2年度 議会事務局 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
<p style="text-align: center;">議会事務局長 三浦 光男</p> 	<p><b>●使命</b> 議会事務局は、議会運営・議会活動・政策立案機能の支援や議会と執行機関との調整、議会と市民との媒介といった役割を担うとともに、議会の情報を様々な媒体を活用して、市民に対して迅速で正確、そしてわかりやすく伝えていくことが私たちの使命です。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①議事機関である議会の運営に関し、議員に質の高い職務環境を提供することによって、市民に良質な行政サービスの提供がなされるよう議員の議会活動を支援します。</p> <p>②ホームページや議会だより、議会ネット配信システム等により、議会活動情報等を積極的に公開し、「市民が身近に感じることのできる議会」「開かれた議会」を推進します。</p> <p>③円滑で秩序ある議会運営のために、事務局機能の充実・強化を図り、議会からの要請などの確に対応できる体制づくりに努めます。</p>	所管課	議会事務局		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			4人	1人	5人
		一般会計	173,948 千円		
		特別会計	0 千円		
		計	173,948 千円		
(うち人件費)	(30,679 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	円滑で効率的な議会運営や政策立案等の様々な議会活動の支援	調査機能や法務機能の充実を図り、議会運営、議会活動を支援します。	適切な情報提供を適時に行えるよう、調査情報、政策、法務部門を充実強化します。	議会定例会（6月、8月、11月）臨時会（5月、7月）各常任委員会及び特別委員会等が開催され、コロナ対策などを含め随時必要な情報を提供することで円滑な運営を支援することができました。	議会定例会（6月、8月、11月、2月）臨時会（5月、7月）各常任委員会及び特別委員会等が開催され、コロナ対策などを含め随時必要な情報を提供することで円滑な運営を支援することができました。
		また、円滑で効率的な議会運営に向けて、ICTの導入を検討します。	また、ICTの導入に	また、ICTの導入に	また、ICTの導入に

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の進捗状況
				向けて、デモンストレーション実施など協議を進めています。	向けて、デモンストレーション実施など協議を進めています。	向けて、デモンストレーション実施など協議を進めることができました。
2	議会活動の紹介	議会だより発行や議会報告会開催の支援を行うとともに、議会ホームページを適時更新します。	議会だより（年4回、市内全世帯配布）発行の編集補助をするとともに議会報告会の開催の支援を行います。 また、議会ホームページを適時更新します。	議会だよりは、62号を4月23日、63号を8月27日に発行し、現在10月22日発行となる64号の編集作業をしています。 また、議会ホームページを適時更新しています。	議会だよりは、62号を4月23日、63号を8月27日、64号を10月22日、65号を1月28日発行しました。 また、議会ホームページを適時更新しています。	議会だよりは、62号を4月23日、63号を8月27日、64号を10月22日、65号を1月28日発行し、現在4月22日発行となる66号の編集作業をしています。 また、議会ホームページを適時更新しています。 議会報告会については、新型コロナウイルスの影響で開催できませんでした。
3	市民にわかりやすく開かれた議会への取り組みの支援	議会ネット配信システム（ライブ中継及び録画配信）へのアクセスや議会傍聴への呼びかけを積極的に行い、市民に身近な議会を目指します。	スムーズなインターネット配信（ライブ中継及び録画配信）を行うとともに、マスメディアを通じて議会情報を発信し、議会傍聴者、インターネット閲覧者など議会と市民をつなぐ場への参加者の増加を目指します。	定例会のインターネット中継については概ね順調に配信することができています。 また、議場で行う委員会についても8月定例会からインターネット中継を開始しています。	定例会及び議場で行う委員会のインターネット中継については概ね順調に配信することができています。	定例会及び議場で行う委員会のインターネット中継については概ね順調に配信することができました。 議会インターネット配信の年間アクセス数は、ライブ中継8,967件、録画2,307件でした。

4	事務局職員の育成・体制強化	社会情勢の変革など様々な状況に対応できる事務局をめざし、各種職員研修会や先進地視察研修をとおして、事務局職員の能力向上を図ります。	市や研修センターが行う職員研修、市町村アカデミー研修、あるいは議長会主催の議事研修会等に積極的に参加して、事務局職員のスキルアップを図ります。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会が中止になっていてまだ参加できていません。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会が中止なり、参加できていませんが、インターネットの活用などによるスキルアップに努めています。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会が中止なり、参加できませんでした。インターネットの活用などによるスキルアップに努めました。
---	---------------	---	---	---	--	---